

令和7年度寄附講座事業成果報告書

(徳島大学大学院医歯薬学研究部 実践地域診療・医科学分野)

1 概要

本寄附講座は、2015年11月-2020年3月までJA 徳島厚生連阿南医療センターにおいて、地域医療支援活動していた寄附講座「糖尿病・代謝疾患治療医学分野」を基盤として、発展改組の形をとって2020年4月1日に実践地域診療・医科学分野として発足しました。現在、支援診療科目とスタッフを拡充し、糖尿病などの生活習慣病・循環器疾患・血液疾患・消化器内科・外科疾患・乳腺および甲状腺疾患・放射線等画像診断に関して、阿南医療センターでの外来診療や病棟診療などの包括的な総合診療支援業務を実施しています。また同センター内に開設された阿南地域医療教育センターを拠点として、徳島大学の実習医学生・研修医および専攻医の効果的なトレーニングを実施し、将来の地域医療を担う若手医師育成や、臨床研究の推進を活動目標としています(下図)。



今年度の構成員は、特任教授6名(糖尿病・内分泌代謝内科学:栗飯原賢一、循環器・不整脈学:添木武、消化器外科学:西 正暁、放射線医学:新家崇義、血液内科学:中村信元、消化器内科学:河野豊)、特任准教授1名(糖

尿病・内分泌代謝内科学:湯浅智之)、特任助教1名(糖尿病・内分泌代謝内科学:浅井孝仁、技術補佐員2名(上元良子、関根明子)で活動しており、具体的な本講座の主要業務としては以下の5つの点であります。

- ① 包括的な地域医療に必要な人材を育成するための研修方法の開発
- ② 限られた医療人材による効率的な地域医療のあり方に関する研究
- ③ 地域住民の生活習慣病やそれに関連する循環器疾患の発症進展予防のための臨床基盤研究
- ④ 地域での消化器疾患・血液疾患・内分泌腫瘍および各種癌患者の診断・治療技術向上のための研究
- ⑤ 救急を含む急性期医療における地域動向解析と適切な診療技術や診療システムの開発

2 教育面

(1) 卒前教育

徳島大学医学部医学科の学生に対して、各診療科におけるPBLチュートリアルコースの正副責任者として、コース運営にあたっています。また、臨床・クラークシップにおいては、徳島大学病院の外来・病棟実習で指導を行っています。地域医療学実習としては、新型コロナウイルス感染によるバーチャル実習から対面実習に戻ることになり、現在は1班3名ずつの受け入れ、回復期リハビリ病棟での実習および訪問看護同行実習を行っています。また、徳島大学病院での臨床クラークシップ終了後の、指定学外実習、および選択実習についても医学科学生を受け入れ、診療グループの一員として内科系診療科および外科系診療科領域の実習(医学部生に対して、手術に実際に参加してもらい皮膚縫合などを行ってもらっています)や症例報告書の発表指導および早朝のミニレクチャーを実施しています。

(2) 卒後教育

徳島大学病院卒後臨床研修センターおよび徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学教室、消化器内科学教室、循環器内科学教室、消化器移植外科学教室、放射線医学教室と連携し、初期研修医の教育や臨床指導を大学病院および阿南医療センターにおいて実施しています。さらに毎週水曜日に阿南地域医療教育センターにおいて寄附講座スタッフと阿南医療センター若手医師で抄読会や症例検討会を実施しており、英語論文作成指導も個々に行なっています。

3 研究面

本講座では、徳島大学病院と阿南医療センターの診療を通じて、基礎および臨床面での各診療領域での病態解明と治療の開発研究を行うことを大きな使命としています。研究テーマとしては以下のものが進行中であり、研究論文発表も行いました。

<糖尿病・内分泌代謝内科学分野>

(1) 病態モデル動物及び臨床バイオマーカーの解析と糖尿病・代謝疾患関連合併症の発症機序解明

遺伝子改変動物を用いて、代謝・循環改善薬の介入による臓器保護効果の検証や病態解明を行う他、受診患者さんの臨床サンプルや臨床データを解析することで、効果的な治療法の開発を目指しています。

- ① インスリン抵抗性関連疾患群におけるインスリン受容体切断の意義

インスリン作用が阻害されるインスリン抵抗性は、臨床医学的に糖尿病の病態を担う重要な要素であることが広く認められています。さらに、糖尿病との関連が深い疾患においてもインスリン抵抗性がそれぞれの病態に関わるとされていますが、その基盤となる共通の分子機構は見出されていません。これまで我々は独自の視点で新たなインスリン抵抗性メカニズムの同定とバイオマーカーとしての可溶性インスリン受容体の意義について検討してきており、糖尿病や妊娠中に認めるインスリン抵抗性に共通する分子基盤であることを見いだしてきました。この事象が癌やアルツハイマー病、肥満、肝疾患といったインスリン抵抗性関連疾患群に広く関わっている可能性を検証してきたところ、特定の転写因子との関連を見出し分子生物学的機序の解析による高血糖とこれらの疾患群との関連を示唆する結果を得ることができました。

② 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 (MASLD) の病態解明と薬物療法の探索

代謝機能障害関連脂肪性肝疾患(Metabolic Dysfunction-Associated Steatotic Liver Disease: MASLD)は肝硬変・肝癌発症のリスク因子であり、かつ心腎血管病発症リスク因子であることが最近注目されています。現在、この病態の分子病態の解明に加え、脂質異常症の治療薬であるペマフィブラートによる MASLD 病態改善効果のメカニズムについて検証し、成果を学会発表や英文科学誌に発表しました (Antioxidants (Basel). 2025 Jul 20;14 (7): 891.doi: 10.3390/antiox14070891)。

③ 末梢血赤血球指標と代謝関連肝腎臓器障害の関連解析

赤血球の Mean corpuscular volume(MCV)は、貧血病態の鑑別に有用である他、加齢とともに増大する事が知られています。また MCV は総死亡や肝腎症候群の発症と正の相関を示す事が近年報告されているため、我々は MCV の MASLD 病態関連指標における意義を検証し、学会口演発表の他、英文科学誌に発表しました (J Clin Med. 2025 Jul 2;14(13):4680.doi: 10.3390/jcm14134680)。また Red blood cell distribution width (RDW)は、赤血球容積不均一性の指標で、従来は貧血などの造血器異常のマーカーとして使用されていました。近年、心不全をはじめとする心血管疾患の罹患率や予後のリスクマーカーとしての有用性が報告された他、血液透析患者や慢性腎不全患者の予後指標となることも明らかになってきたため、糖尿病関連腎臓病における意義を見出し、英文科学誌に発表しました (J Diabetes Investig. 2025 Dec;16 (12): 2191-2200.doi: 10.1111/jdi.70149)。

(2) 生活習慣病患者における早期動脈硬化病変の検出と治療介入の効果検証

受診患者さんの早期動脈硬化症の病態検出目的と心血管合併症発症や予後予測の強力なエビデンスを有する血管内皮機能検査(FMD)の積極的な導入を行い、FMD の正常化を目指した病態解析や治療法の開発を目指しています。我々は、セミオートマチックの FMD 測定装置を阿南医療センターと徳島大学病院に導入し、血管内皮機能の改善や悪化に関与する臨床指標の解析を行っており、FMD 検査の結果を患者さん個々の診療にフィードバックすることで、生活習慣は正に活用しています。また AI による自動画像解析にて上腕二頭筋の断面積や筋輝度を算出できる新しいソフトウェアを用いて、骨格筋・血管機能連関の解析を行い、その新知見を学会シンポジウムでの発表の他、論文投稿準備中です。

(3) 体組成解析を用いた骨格筋代謝および機能異常症における病態解析

高齢化社会において、フレイルは大きな臨床課題となっています。そこで主として糖尿病患者を対象に、骨格筋代謝および機能異常症としてのサルコペニア・プレサルコペニア・ダイナペニアに関わる臨床指標の診断のために、InBody S10[®]による生体電気インピーダンス法(BIA: Bioelectrical Impedance Analysis)を用いた体組成解析を行なっています。日常診療において BIA 法の検査結果レポートを用いた患者指導を行ない、フレイル予防に注力しています。また骨格筋異常のみならず、BIA で測定した位相角と糖尿病関連臓器障害との関連解析を現在進めています。

(4) 線維芽細胞増殖因子 23 (FGF23) 関連低リン血症性くる病・骨軟化症症例に対するブロスマブ治療の長期有効性および安全性に関する解析・検討

FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症は、X 連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症 (XLH) や腫瘍性骨軟化症 (TIO) に代表される希少な慢性疾患です。持続する低リン血症により骨痛・骨変形・骨折のしやすさ・身体機能の低下などが生じ、患者さんの生活の質 (QOL) を著しく損なう疾患です。

近年、抗 FGF23 モノクローナル抗体製剤であるブロスマブが臨床導入され、XLH や TIO の治療成績は大きく改善しました。一方で、実際の診療現場における長期にわたる有効性・安全性のデータや、稀な遺伝子異常を有する患者さんを含む多様なコホートでの治療成績については、まだ十分な知見が蓄積されていないのが現状です。そこで FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症の患者さんを対象に、ブロスマブ治療の長期的な有効性 (骨痛・血清リン値・骨密度などの改善) および安全性について、解析・検討を行っています。本研究で得られた知見は、学会での口演発表を行うとともに、現在論文投稿の準備を進めております。

<血液内科学分野>

(1) 各種疾患における口腔内免疫・細菌叢と各種臨床指標の相関に関する検討

近年、常在細菌叢と各種疾患との関連が注目されている。口腔内には多数の常在菌が生息していると同時に、唾液が消化液として分泌されるものの抗菌物質を多数含んでいることが知られています。このような常在細菌叢や唾液中の抗菌物質と、各種疾患または病態との関連はほとんど知られていません。本研究では、当院で診療中の患者において唾液を採取し、各種臨床指標やその経過に如何に影響を与えるのかを検証しています。

(2) 造血器疾患における病態関連因子およびバイオマーカーの探索

造血器腫瘍において、化学療法その他の再発例や初回治療療法抵抗例などは依然予後不良であるため、病態に関連する因子の抽出は喫緊の課題です。また非腫瘍性疾患も多く存在し、ステロイドなどの免疫抑制療法が試みられますが、治療反応は個体差が大きく、事前に予測が可能なバイオマーカーの同定も求められています。造血器疾患の患者の検体を収集し、徳島大学血液内科の検体と併せて、新規の病態関連因子や治療の反応性予測因子、および予後因子を見いだす検討を行っています。

(3) 新型コロナワクチンの有効性・安全性の検討

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、人々の生命や生活、経済を脅かしています。ワクチン接種が世界中で開始されましたが、臨床応用された世界初の mRNA ワクチンであり、その有効性、安全性は十分には知られていません。新型コロナウイルスに対する抗体および製剤に含まれるポリエチレングリコールに対する抗体やその持続期間、また COVID-19 感染予防効果、ワクチンの副反応について検討し論文発表しました (Heliyon. 2024;10(10):e31489.)。また、ワクチンによる稀な副反応を起こした例も経験し、論文発表してきました (Thromb Haemost. 2022;122(10):1837-1842.)。

(4) 生活習慣病における肝臓-血液連関

生活習慣病などの代謝性疾患において、肝障害から肝臓癌を来す例が近年増加しており、代謝機能障害関連脂肪肝疾患として対策が求められています。このような代謝性疾患では血液疾患とは関連がないと従来は考えられてきましたが、貧血への影響を検討し、肝障害が強い例では、Hb の年単位での低下速度が加速することを示してきました (PLoS One. 2025;20(12):e0338372.)。

(5) 稀な造血器疾患におけるゲノム解析

造血器疾患は比較的頻度が低いと考えられていますが、その中でも稀な疾患においては病態が十分には解明されていない疾患もあります。このような疾患においては全ゲノム解析が有効な可能性があり、研究レベルで積極的に行っています。

<循環器内科学分野>

臨床医として強い問題意識を持ち、ヒトでの臨床研究を推し進め、臨床での問題点を基礎研究により理論的に解明していくという姿勢で、不整脈を中心とした循環器領域の基礎、臨床研究を行っています。

(1) 慢性炎症としての心房細動の病態解明と治療法開発

複数の凝固因子(プロテアーゼ)が血栓形成のみならず、さまざまな細胞に発現するプロテアーゼ活性化受容体(PAR)を介して、炎症反応にも関与することが知られています。なかでも PAR-2 は主に Xa 因子 (FXa) によって活性化されることが報告されています。我々は、FXa-PAR2 経路が心房細動発症に寄与していることを PAR2 欠損マウスを用いて生理学的・生化学的に証明しました。さらに、PAR-2 のリガンドである経口 Xa 阻害薬が抗炎症作用を介して心房細動発症を抑制しうることを自然高血圧ラット用いて証明しました (Matsuura T, Soeki T, et al.

Circ J. 2021;85:1383-1391)。また、近年、動脈硬化などの基盤として慢性炎症が関与していることが知られており、なかでも病原体センサーとしての Toll-like 受容体 (TLR) の関与が示唆されています。心房細動の基盤としても慢性炎症が関わっているとされていますが、TLR の関与などその詳細は不明のままです。そこで、我々は TLR9 欠損マウスを用いた基礎的アプローチ、心房細動アブレーション症例のサンプルを用いた臨床的アプローチの両面により、TLR9 シグナルによる心臓リモデリングと心房細動発生メカニズムの解明を進め、その一部を報告しています (Takahashi T, Soeki T, et al. Am Heart J Plus. 2025;60:100638)。

(2) 心房細動発症の新たな予測因子の検討

心房細動は頻度の高い不整脈でありその予防対策が肝要でありながら、簡便で有用性の高い予測因子はありません。我々は、臨床背景、ホルター心電図指標、心エコー指標を総合的に評価した複合スコアにより心房細動発症の予測が可能かを検討しています。現在までの検討では、年齢、上室性期外収縮 1 日総数、最大 RR 間隔、左房径が独立して心房細動発症のリスクを高めることが判明し、これらの因子を点数化したスコアが高くなるにしたがって心房細動発症の発症率は高くなることを見出しました (論文にて発表)。さらに、12 誘導心電図から右・背中側誘導を算出した導出 18 誘導心電図という新技術を用いれば、既存の 12 誘導心電図の P 波より心房の状態を正確に推測できる可能性があるかと推察されますが、過去にそのような報告はありません。そこで、我々は導出 18 誘導心電図の P 波と心房細動発症や左心房サイズとの関連を検証しています。

(3) 心房細動・心不全患者におけるサルコペニアと各種臨床指標の相関に関する検討

高齢者に見られる病的な筋肉量の低下はサルコペニアと称され、生理的予備能が低下するフレイルの状態につながるとともに、認知症や、心血管病、腎障害、貧血、免疫力低下などの疾患と密接な関係があることが明らかになってきました。しかしながら、サルコペニアと心房細動の発症・進展、認知症、心不全との関連については十分に解明されていません。そこで、心房細動、心不全にて診療中の患者における体組成測定を行うことで、サルコペニアの頻度の調査を行い、骨格筋量が各種臨床指標やその経過に如何に影響を与えるのかを検証しています。その結果の一部として、サルコペニア合併心房細動が高齢者の心不全有病率に強く関連していることを見出し報告しました (Tani A, Soeki T, et al. Int Heart J. 2025;66:780-785)。

<消化器内科学分野>

脂肪肝モデルマウスを用いた健康食品の治療効果検討

本邦では40歳代の2人に1人の男性は検診時に脂肪肝と診断されるが、この脂肪肝は生活習慣の改善以外に有効な治療薬はまだ存在しません。高脂肪食を給餌させたマウスに抗酸化ストレス作用のあるエゾウコギの根の抽出物を給餌すると、脂肪肝や線維化の改善効果を認めました。本研究結果をまとめて英語論文として誌上発表しました (Kawano Y, et al. Sci Rep. 2024 Jan 2;14(1):110.)。さらにエゾウコギを6か月間給餌したマウスのメチル化 DNA を解析したところ、老化の抑制が確認されました。今後はこの結果をさらに精査・解析して健康寿命の延伸を目的とした研究を計画しています。

<放射線医学分野>

(1) 画像診断ナショナルデータベース実現のための研究開発

日本医学放射線学会は、放射線医学が国民の健康と福祉の増進に寄与するために ICT (情報通信技術) 化を推進し、ビッグデータや人工知能を活用した医療の構造改革を実施しています。その一つとして2016年より日本医用画像データベース (J-MID) が始動していますが、2021 年からは徳島大学も北海道大学、愛媛大学とともに新生 J-MID に加わり、現在は全国の主要 16 医療施設の新体制で大規模画像診断データベースの構築を行っています。画像診断検査装置や検査オーダー、撮影、診断のそれぞれに応じた医療技術、医療安全、医療被ばく低減、医療の質の向上を目的とし、人工知能の開発や発展のための研究開発を目指しながら、現在も全国的な画像データベースの構築を進めており、そのビッグデータに基づく研究が継続しています。

(2) テキスト解析を用いた卵巣腫瘍や軟部腫瘍の MRI 画像および PET/CT 画像の検証と新規診断法の開発

卵巣腫瘍や軟部腫瘍の術前に良性・境界悪性・悪性など組織型の画像診断の精度には限界があり、新たな画像診断法の開発が望まれています。本研究では徳島大学病院産婦人科と整形外科と共同で、術前の MRI や PET/CT などの画像診断において、画像の質感を数値化できるテキスト解析やダイナミック PET/CT などの新たな撮像法を用いることで、卵巣腫瘍や軟部腫瘍の術前診断精度の向上が図れるかどうかを検証することを目指し、症例登録およびデータ収集を行っています。また現在まで蓄積された卵巣腫瘍および軟部腫瘍の画像データを解析し、中間報告として学会発表を行い、現在英文論文に取り掛かっています。

<消化器・移植外科学分野>

(1) 消化器癌のバイオマーカー研究

近年、バイオマーカー研究として簡便で侵襲が少ないリキッドバイオプシーが注目されています。リキッドバイオプシーは患者の血液などを採取して、その中に含まれている循環腫瘍細胞や DNA、RNA を用いてゲノム解析を行う方法であり、治療前後の効果予測などが可能です。リキッドバイオプシーの中でも、癌細胞から分泌されるエクソソームに着目し、患者検体を用いたエクソソーム内包 miRNA を用いる事でスクリーニングから診断、術後の再発や治療の効果予測、治療後のモニタリングまで多岐にわたる臨床応用を目指しています。

(2) 腫瘍微小環境における糖代謝・脂質代謝研究

腫瘍関連マクロファージ (TAM ; tumor associated macrophage) や癌関連線維芽細胞 (CAF ; cancer associated fibroblast) は腫瘍微小環境において、癌の浸潤・転移・腫瘍免疫に関与することが広く知られるようになり、癌研究の中心は癌細胞から TAM・CAF などの腫瘍微小環境構成細胞にシフトしてきています。我々はこれまでに CAF の糖代謝を制御することで、腫瘍悪性度を低下させることを報告してきました (Int J Oncol. 2022,

Oncol Lett. 2022)。TAM・CAF の糖代謝・脂質代謝を制御することで腫瘍悪性度抑制・腫瘍免疫制御を介した新規治療法の開発を目標としています。

(3) 消化器癌への青色 LED 光の効果

我々はこれまでに消化器癌に対する青色 LED (light emitting diode) 光の抗腫瘍効果に着目し、研究を行い、青色 LED 光の癌細胞に対する効果のみならず腫瘍微小環境へも影響を及ぼすことを報告してきました。今後、正常組織への影響や腫瘍への至適照射条件を明らかにし、青色光受容体をターゲットとした大腸癌に対する光治療の実用化を目指しています。

<学会発表>

国際学会

1	Ken-ichi Aihara, Tomoyo Hara, Hiroki Yamagami, Ryoko Uemoto, Akiko Sekine. Pemaflibrate, a selective peroxisome proliferator-activated receptor α modulator ameliorates steatotic liver disease with reduction of oxidative stress regardless of endothelial nitric oxide synthase gene disruption in mice. Kyoto, Japan. The 5th International Symposium on Frontiers in Molecular Science August 26-29, 2025
2	Takayoshi Shinya, Akari Shinya, Tomoki Matsushita, Yuka Hiroshima, Junichiro Hiraoka, Yoichi Otomi, Badrakhzul Zayabat, Hiroaki Inui, Tomohiro Kagawa, Riyo Kinouchi, Kanako Yoshida, Masato Nishimura, Takeshi Iwasa, Masafumi Harada. Dynamic F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography with texture analysis for the differential diagnosis of ovarian masses. 38th Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine EANM '25 October 4-8, 2025 Barcelona, Spain
3	T. Shinya, Y. Hiroshima, J. Hiraoka, T. Matsushita, Y. Otomi, T. Nishisho, K. Ishizawa, K. Sairyo, M. Harada. Dynamic carbon-11-labeled methionine PET/CT with texture analysis for the differential diagnosis in musculoskeletal lesions: the dynamic uptake patterns and the utility of radiomics. European Congress of Radiology 2026; 04-08th March, 2026, Vienna, Austria.

国内学会

1	Tomoko Takahashi, Takeshi Soeki, Tomomi Matsuura, Kazuki Tezuka, Tomonori Takahashi, Yoshihito Saijo, Yutaka Kawabata, Muneyuki Kadota, Tomoya Hara, Rie Ueno, Takayuki Ise, Koji Yamaguchi, Shusuke Yagi, Hirotsugu Yamada, Tetsuzo Wakatsuki, Masataka Sata: Cell-free circulating mitochondrial DNA levels are associated with the recurrence of atrial fibrillation after catheter ablation for atrial fibrillation. 第 89 回日本循環器学会学術集会 2025 年 3 月 28-30 日 横浜
2	野村 侑香, 西尾 進, 野中 蓮, 山口 夏美, 平田 有紀奈, Robert Zheng, 高橋 智紀, 西 條良仁, 松浦 朋美, 添木 武, 佐田 政隆, 山田 博胤: 人工知能を活用した全自動心エコー図画像解析システムの左室肥大の診断精度に関する検討. 第 89 回日本循環器学会学術集会 2025 年 3 月 28-30 日 横浜
3	野中 蓮, 西尾 進, 野村 侑香, 山口 夏美, 平田 有紀奈, Robert Zheng, 高橋 智紀, 西 條良仁, 松浦 朋美, 添木 武, 佐田 政隆, 山田 博胤: 心房細動アブレーション後における左房機能指標の検討. 第 89 回日本循環器学会学術集会 2025 年 3 月 28-30 日 (日) 横浜
4	ゼング ロバート, 西條 良仁, 高橋 智紀, 山口 夏美, 手束 一貴, 高橋 智子, 谷 彰浩, 坂東 遼, 原 知也, 門田 宗之, 川端 豊, 上野 理絵, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 若槻 哲三, 佐田 政隆: 若手研究者奨励賞 (YIA) 臨床研究部門 1 TAVI 施行患者における活動性がんの影響～術後予後の検討 第 126 回日本循環器学会 中国・四国合同地方会 2025 年 6 月 28 日(土)～29(日) 香川
5	ゼング ロバート, 西條 良仁, 八木 秀介, 手束 一貴, 高橋 智子, 谷 彰浩, 坂東 遼, 高橋 智紀, 原 知也, 門田 宗之, 川端 豊, 上野 理絵, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 山田 博胤, 添木 武, 若槻 哲三, 佐田 政隆: 一般演題 先天性心疾患 難治性高血圧を契機に発見された成人大動脈離断の一例

	第 126 回日本循環器学会 中国・四国合同地方会 2025 年 6 月 28 日(土)~29(日) 香川
6	山口 浩司, 若槻 哲三, 坂東 遼, 高橋 智紀, 川端 豊, 西條 良仁, 伊勢 孝之, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 口演 13/救急・突然死 当院における病着前 12 誘導心電図伝送の現状と課題について 第 73 回日本心臓病学会学術集会 2025 年 9 月 19 日(金)~21 日(日) 高知
7	手束 一貴, 八木 秀介, 西條 良仁, 相原 弘幸, 高橋 智子, 松浦 朋美, 添木 武, 佐田 政隆 : 口演(症例報告) 12 / 心筋症 2 心アミロイドーシス患者に生じた心房細動+完全房室ブロックに対して左脚領域ペーシングを施行した一例 第 73 回日本心臓病学会学術集会 2025 年 9 月 19 日(金)~21 日(日) 高知
8	山口 浩司, 門田 宗之, 相原 弘幸, 手束 一貴, ゼング ロバート, 坂東 遼, 高橋 智紀, 西條 良仁, 川端 豊, 原 知也, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般演題 末梢血管 PTRA 施行後に stent 内再狭窄を繰り返す腎動脈狭窄の一例 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
9	西條 良仁, 吉田 あつこ, 相原 弘幸, 手束 一貴, 高橋 智子, 坂東 遼, ゼング ロバート, 高橋 智紀, 原 知也, 門田 宗之, 川端 豊, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般演題 心不全 サクビトリル/バルサルタンが心機能改善に有用であった周産期心筋症の一例 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
10	高橋 智紀, 山口 夏美, 野中 蓮, 野村 侑香, 平田 有紀奈, 西尾 進, ゼング ロバート, 大櫛 祐一郎, 西條 良仁, 上野 理絵, 阿部 美保, 川端 豊, 門田 宗之, 伊勢 孝之, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般演題 弁膜症 左室駆出率が保持された大動脈弁狭窄症において心エコー図法で求めた左 房硬度指数は TAVR 後の予後と関連する 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
11	坂東 遼, 原 知也, ゼング ロバート, 西條 良仁, 門田 宗之, 川端 豊, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 福田 大受, 佐田 政隆 : 若手研究者奨励賞 (YIA) セッション 動脈硬化モデルマウスにおける TLR9 と大動脈石灰化の関係 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
12	谷 彰浩, 小崎 裕司, 添木 武, 寺嶋 吉保 : 一般演題 心不全 患者の希望に応えた在宅静注強心薬持続投与を実践した一例 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
13	手束 一貴, 添木 武, 高橋 智子, 高橋 智紀, 西條 良仁, 原 知也, 門田 宗之, 川端 豊, 上野 理絵, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 佐田 政隆 : 一般演題 不整脈 左側副伝導路焼灼後に逆伝導が離断され順伝導が残存した二例 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
14	辻 真紀子, 坂東 遼, Zheng Robert, 西條 良仁, 原 知也, 門田 宗之, 川端 豊, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 学生・初期研修医奨励賞 5 心筋炎・心筋症 心静止に至った劇症型心筋炎に対し ECMO から BiVAD への移行と心移植 施設連携で救命し得た一例 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
15	平田 有紀奈, 八木 秀介, 野中 蓮, 野村 侑香, 山口 夏美, 西尾 進, ゼング ロバート, 大櫛 祐一郎, 西條 良仁, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般演題 その他 体位変換を組み合わせた心エコー図検査が有用であった体位性頻脈症候群 の 1 例 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
16	山口 夏美, 高橋 智紀, 手束 一貴, 高橋 智子, 松浦 朋美, 添木 武, 野中 蓮, 野村 侑香, 平田 有紀奈, 西尾 進, ゼング ロバート, 那須 栄里子, 大櫛 祐一郎, 西條 良仁, 上野 理絵, 阿部 美保, 八木 秀介, 山田 博胤, 佐田 政隆 : メディカルスタッフ奨励賞 1 不整脈・デバイス 心房細動に対するカテーテルアブレーション後の体重変化と左房機能の関連

	第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
17	野村 侑香, 平田 有紀奈, 西尾 進, 西條 良仁, 野中 蓮, 山口 夏美, ゼング ロバート, 那須 栄里子, 大櫛 祐一郎, 高橋 智紀, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般演題 心筋症 S 字状中隔が全自動解析システムによる壁厚計測に与える影響 第 127 回日本循環器学会四国地方会 2025 年 12 月 6 日(土) 徳島
18	川端 豊, 山口 浩司, 坂東 遼, 西條 良仁, 門田 宗之, 原 知也, 伊勢 孝之, 松浦 朋美, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般公募演題 / ポスターセッション(日本語) 45 PCI 3 The Relationship between Microvasculature with Gene Expression in Pericoronary Adipose Tissue and Coronary Plaque Characteristics in Fresh Cadavers 第 89 回日本循環器学会学術集会- JCS20226 2026 年 3 月 20 日(金)~22 日(日) 福岡
19	Robert Zheng, 相原 弘幸, 手束 一貴, 高橋 智子, 坂東 遼, 大櫛 祐一郎, 那須 栄里子, 高橋 智紀, 西條 良仁, 原 知也, 門田 宗之, 川端 豊, 上野 理絵, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般公募演題 症例報告セッション(日本語) 22 Cardio-Oncology 1 Constrictive Pericarditis Developing as a Late Complication after Chemoradiotherapy for Esophageal Cancer 第 89 回日本循環器学会学術集会- JCS20226 2026 年 3 月 20 日(金)~22 日(日) 福岡
20	坂東 遼, 門田 宗之, Robert Zheng, 西條 良仁, 原 知也, 川端 豊, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 佐田 政隆 : 一般公募演題 / 症例報告セッション(日本語) 24 Secondary Cardiomyopathy Coronary Microvascular Dysfunction as an Initial Clue to the Diagnosis of AL Amyloidosis 第 89 回日本循環器学会学術集会- JCS20226 2026 年 3 月 20 日(金)~22 日(日) 福岡
21	Bando R, Yamaguchi K, Kawabata Y, Zheng R, Saijo Y, Hara T, Kadota M, Matsuura T, Ise T, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Sata M : Oral Presentation (English) 27 Coronary Circulation and PCI Drug-coated Balloon-Only Treatment versus Drug-eluting Stents for Complex Lesions in Large Coronary Vessels: 3-Year Outcomes 第 89 回日本循環器学会学術集会- JCS20226 2026 年 3 月 20 日(金)~22 日(日) 福岡
22	Takahito Asai, Hiroki Yamagami, Itsuro Endo. Analysis of therapeutic effect in cases treated with Burosumab at our institute (Follow-up) . 第 43 回日本骨代謝学会学術集会 2025 年 7 月 24-26 日 熊本
23	篠原 諒, 一木 菜緒, 高田千晶, 浅井孝仁, 原 倫世, 山上 紘規, 遠藤 逸朗. 下垂体炎との鑑別を要した Tolosa-Hunt 症候群の一例. 第 25 回日本内分泌学会四国支部学術集会 2025 年 9 月 6 日
24	浅井孝仁, 山上紘規, 佐藤寛子, 坂尾祐佳子, 安井沙耶, 原倫世, 三井由加里, 倉橋清衛, 小谷裕美, 遠藤逸朗. 当院におけるブロスラブ投与症例の解析. 第 27 回日本骨粗鬆症学会 2025 年 9 月 12-14 日 千葉
25	一木 菜緒, 原 倫世, 篠原 諒, 浅井 孝仁, 高田 千晶, 山上 紘規, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 栗飯原 賢一. 2 型糖尿病におけるフィブリノゲン/アルブミン比の腎予後予測能と背景因子の解析. 日本糖尿病学会中国四国地方会第 63 回総会 2025 年 10 月 31 日-11 月 1 日 愛媛
26	高田 千晶, 原 倫世, 一木 菜緒, 篠原 諒, 浅井 孝仁, 山上 紘規, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 栗飯原 賢一. 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患合併 2 型糖尿病患者における肝線維化リスク因子の検討. 日本糖尿病学会中国四国地方会第 63 回総会 2025 年 10 月 31 日-11 月 1 日 愛媛
27	浅井 孝仁, 山上 紘規, 一木 菜緒, 篠原 諒, 高田 千晶, 原 倫世, 山下 雄也, 黒田 暁生, 松久 宗英, 遠藤 逸朗. ステロイド治療により寛解した B 型インスリン抵抗症の 1 例. 第 35 回臨床内分泌代謝 Update 2025 年 11 月 7-8 日 長野
28	山上 紘規, 一木 菜緒, 篠原 諒, 浅井 孝仁, 高田 千晶, 遠藤 逸朗. 口腔内粘膜神経腫を契機に診断した多発性内分泌腫瘍症 2B の孤発例. 第 35 回臨床内分泌代謝 Update 2025 年 11 月 7-8 日 長野
29	中村信元 逆算する内科学 第 272 回 徳島医学会学術集会 2026 年 3 月 8 日 徳島
30	中村信元, 辻真紀子, 松下日菜子, 前田悠作, 川田知代, 堀 太貴, 住谷龍平, 大浦雅博, 曾我部公子, 藤井志朗, 原田武志, 三木浩和, 松岡賢市 抗 HIV 治療により縮小した EBV 陽性 HIV 関連悪性リンパ腫 第 39 回日本エイズ学会学術集会・総会 2025 年 12 月 5 日(金)~7 日(日) 熊本
31	坂尾祐佳子 佐藤寛子 第 25 回日本内分泌学会四国支部学術集会 2025 年 9 月 6 日 香川

32	新家崇義 Dynamic F-18 FDG PET/CT を用いた卵巣腫瘍における半定量的解析およびテクスチャ解析の良悪性診断能に関する初期検討 第 271 回徳島医学会学術集会 2025 年 7 月 27 日(日) 徳島
33	井上 雄介, 原田 武志, 小田 明日香, 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, <u>中村 信元</u> , 三木 浩和, 賀川 久美子, 尾崎 修治, 安倍 正博, <u>松岡 賢市</u> シベプレニリマブは APRIL による骨髄腫細胞での BCMA 標的三重特異性抗体の BCMA への結合障害を克服する 第 50 回日本骨髄腫学会学術集会 2025 年 5 月 23 日(金)～25 日(日) 群馬
34	原田 武志, 小田 明日香, 大口 裕人, 井上 雄介, 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, <u>中村 信元</u> , 三木 浩和, 賀川 久美子, 尾崎 修治, 安倍 正博, <u>松岡 賢市</u> ADAR1 p150 の細胞質移行阻害はインターフェロン α による骨髄腫細胞の ZBP1 介在アポトーシスを惹起する 第 50 回日本骨髄腫学会学術集会 2025 年 5 月 23 日(金)～25 日(日) 群馬
35	三木 浩和, <u>中村 信元</u> , 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 高橋 真美子, 原田 武志, 藤井 志朗, 遠藤 逸朗, 安倍 正博, <u>松岡 賢市</u> 骨病変を有する多発性骨髄腫患者における骨関連事象の発症予測因子 第 50 回日本骨髄腫学会学術集会 2025 年 5 月 23 日(金)～25 日(日) 群馬
36	<u>中村 信元</u> , 佐藤 陽一, 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, 原田 武志, 三木 浩和, <u>松岡 賢市</u> AL アミロイドーシスにおける copy number variation の解析 第 50 回日本骨髄腫学会学術集会 2025 年 5 月 23 日(金)～25 日(日) 群馬
37	<u>中村 信元</u> Genomic analysis of a rare lymphoma patient with periodic fever and dynamic changes in lactate dehydrogenase 周期的な発熱と LDH 上昇を呈する稀なリンパ腫症例のゲノム解析 第 22 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025 年 3 月 6 日(木)～3 月 8 日(土) 神戸
38	金子 遥祐 代謝異常関連脂肪性肝疾患と赤血球 Mean Corpuscular Volume の連関解析 第 68 回日本糖尿病学会年次学術集会 2025.05.29(木)-31(土) 岡山
39	井上 雄介, 原田 武志, 小田 明日香, 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, <u>中村 信元</u> , 三木 浩和, <u>松岡 賢市</u> CELMoDs による T 細胞修飾を介した抗骨髄腫二重特異性抗体の細胞傷害活性の増強 第 87 回日本血液学会学術集会 2025 年 10 月 10 日(金)～12 日(日) 神戸
40	原田 武志, 大口 裕人, 小田 明日香, 井上 雄介, 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, <u>中村 信元</u> , 三木 浩和, 安倍 正博, <u>松岡 賢市</u> ADAR1 p150-PKR 軸の制御が示す多発性骨髄腫の新たな治療脆弱性 第 87 回日本血液学会学術集会 2025 年 10 月 10 日(金)～12 日(日) 神戸
41	堀 太貴, <u>栗飯原 賢一</u> , 金子 遥祐, 河田 沙紀, 清水 一磨, 細木 美苗, 森 健介, 乙田 敏城, <u>湯浅 智之</u> , <u>松岡 賢市</u> , <u>中村 信元</u> 代謝異常疾患患者におけるヘモグロビンの年間変化量とその関連因子の検討 第 87 回日本血液学会学術集会 2025 年 10 月 10 日(金)～12 日(日) 神戸
42	白鳥 聡一, 加藤 光次, 河北 敏郎, 大西 康, <u>松岡 賢市</u> , 池亀 和博, 平本 展大, 豊崎 誠子, 片山 雄太, 古賀 友紀, 村山 竣, 笹川 裕次, 進藤 麻未, 畠 清彦, 前田 嘉信, 豊嶋 崇徳, 稲本 賢弘 ステロイド依存性/抵抗性慢性 GVHD に対するベルモスジル 製造販売後臨床試験パートを含む最終成績 第 87 回日本血液学会学術集会 2025 年 10 月 10 日(金)～12 日(日) 神戸
43	<u>栗飯原 賢一</u> , 上元 良子, 関根 明子, 原 倫世, 山上 紘規, <u>湯浅 智之</u> , 河野 豊, <u>中村 信元</u> , 遠藤 逸朗, 池田 康将, <u>松岡 賢市</u> ペマフィブラートは血管内皮機能障害の有無に関わらずマウス MASLD 病態を改善する 第 57 回日本動脈硬化学会総会・学術集会 2025 年 7 月 5 日(土)・6 日(日) つくば
45	富永 誠記(徳島大学病院 患者支援センター), <u>中村 信元</u> , 三木 浩和, 北上 早紀, 岡本 秀樹, 後藤 由香, 井口 和子, 新井 優子, 泉 侑希, 矢野 由美子, 後藤 さおり, 青田 桂子, 菅 俊行, 渡邊 浩良, 兼本 ひろみ, 高橋 真理, 大坂 朱美, <u>松岡 賢市</u> 血友病診療におけるシステム理論を用いたソーシャルワーク実践一考察 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page53-58(2025.06)
47	茂木 勝矢(徳島大学病院 卒後臨床研修センター), 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, 原田 武志, <u>松岡 賢市</u> , <u>中村 信元</u> , 三木 浩和 急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植により改善した慢性血小板減少症の一例 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page87(2025.06)

48	八木 萌香(徳島大学 大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野), 野村 和弘, 阪上 浩, 原 倫世, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 山上 紘規, 遠藤 逸朗, 松岡 賢市, 湯浅 智之, 中村 信元, 栗飯原 賢一, 黒田 暁生, 松久 宗英, 遠藤 逸郎 糖尿病関連腎臓病におけるフィブリノゲン/アルブミン比の臨床的意義に関する検討 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page84(2025.06)
49	金子 遥祐,河田 沙紀, 森 建介, 細木 美苗, 堀 太貴, 宮高 紘輔, 辻 誠士郎, 原 倫世, 山上 紘規, 乙田 敏城, 湯浅 智之, 河野 豊, 中村 信元, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 松岡 賢市, 栗飯原 賢一 代謝異常関連脂肪性肝疾患と赤血球 Mean Corpuscular Volume の連関解析 糖尿病(0021-437X)68 巻 Suppl. Page S-331(2025.04)
50	八木 萌香(徳島大学 大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野), 原 倫世, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 山上 紘規, 湯浅 智之, 野村 和弘, 黒田 暁生, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 阪上 浩, 松岡 賢市, 栗飯原 賢一 糖尿病関連腎臓病におけるフィブリノゲン/アルブミン比の意義に関する臨床的検討 糖尿病(0021-437X)68 巻 Suppl. Page S-258(2025.04)
51	栗飯原 賢一,原 倫世, 山上 紘規, 金子 遥祐, 宮高 紘輔, 堀 太貴, 湯浅 智之, 森 博康, 黒田 暁生, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 松岡 賢市, 松久 宗英 生体電気インピーダンス法による位相角の糖尿病関連腎臓病における臨床的意義 糖尿病(0021-437X)68 巻 Suppl. Page S-255(2025.04)
52	原 倫世,八木 萌香, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 山上 紘規, 湯浅 智之, 黒田 暁生, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 松岡 賢市, 栗飯原 賢一 2型糖尿病患者における可溶型 DPP-4/CD26 と代謝機能障害関連脂肪性肝疾患の関連 糖尿病(0021-437X)68 巻 Suppl. Page S-206(2025.04)
53	漆原 南実(徳島大学病院 医療技術部臨床検査技術部門), 井上 雄介, 中川 裕美, 中尾 隆之, 松岡 賢市, 佐田 政隆 多発性骨髄腫における 1q 増幅および R2-ISS と関連する表面抗原の探索 第 26 回日本検査血液学会学術集会 2025 年 7 月 26 日・27 日 京都
55	中川 裕美(徳島大学病院 医療技術部臨床検査技術部門), 井上 雄介, 漆原 南実, 中尾 隆之, 松岡 賢市, 佐田 政隆 骨髄腫細胞上 CD38 発現評価に対するフローサイトメトリー用試薬の比較検討 第 26 回日本検査血液学会学術集会 2025 年 7 月 26 日・27 日 京都
56	金子 遥祐, 河田 沙紀, 森 建介, 細木 美苗, 堀 太貴, 宮高 紘輔, 辻 誠士郎, 原 倫世, 山上 紘規, 乙田 敏城, 湯浅 智之, 中村 信元, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 松岡 賢市, 栗飯原 賢一 代謝異常関連脂肪性肝疾患と赤血球 Mean Corpuscular Volume の連関解析. 第 11 回 肝臓と糖尿病・代謝研究会, 2025 年 5 月 30 日. 岡山
57	栗飯原 賢一, 原 倫世, 山上 紘規, 金子 遥祐, 宮高 紘輔, 堀 太貴, 湯浅 智之, 森 博康, 黒田 暁生, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 松岡 賢市, 松久 宗英 生体電気インピーダンス法による位相角の糖尿病関連腎臓病における臨床的意義 第 68 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2025 年 5 月 31 日 岡山
58	八木 萌香, 原 倫世, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 山上 紘規, 湯浅 智之, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 栗飯原 賢一, DKD 関連病態におけるフィブリノゲン/アルブミン比の意義 第 68 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2025 年 5 月 31 日 岡山
59	栗飯原 賢一, 原 倫世, 山上 紘規, 金子 遥祐, 宮高 紘輔, 堀 太貴, 湯浅 智之, 森 博康, 黒田 暁生, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 松岡 賢市, 松久 宗英 eNOS 欠損 MASLD モデルマウスにおけるペマフィブラートの影響に関する検討. 第 98 回日本内分泌学会学術総会, 2025 年 6 月 5 日 幕張メッセ
60	栗飯原 賢一, 原 倫世, 山上 紘規, 上元 良子, 関根 明子, 湯浅 智之, 河野 豊, 中村 信元, 金子 遥祐, 宮高 紘輔, 松岡 賢市, 遠藤 逸朗, 池田 康将. ペマフィブラートは血管内皮機能障害の有無に関わらずマウス MASLD 病態を改善する. 第 57 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2025 年 7 月 6 日.つくば
61	坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 細木 美苗, 金子 遥祐, 堀 太貴, 山上 紘規, 原 倫世, 乙田 敏城, 湯浅 智之, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 栗飯原 賢一, 糖尿病の有無から見た当院における心房細動合併死亡患者の臨床背景の検討. 第 25 回日本内分泌学会四国支部学術集会, 2025 年 9 月 5 日 香川大学医学部
62	栗飯原 賢一, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 細木 美苗, 金子 遥祐, 山上 紘規, 原 倫世, 乙田 敏城, 湯浅 智之, 遠藤 逸朗 糖尿病の有無から見た当院における心不全死亡患者の臨床背景の検討. 第 25 回日本内分泌学会四国支部学術集会, 2025 年 9 月 5 日 香川大学医学部
63	佐藤 寛子, 坂尾 祐佳子, 赤岩 慶, 堀 明日香, 田上 隆一, 村井 純平, 岡本 恵暢, 湯浅 智之, 中村 信元, 栗飯原 賢一, <i>K. pneumoniae</i> 菌血症による眼内炎・角膜穿孔に対して, 保存的に加療し得た 2 型糖尿病の 1 例. 第 25 回日本内分泌学会四国支部学術集会, 2025 年 9 月 5 日 香川大学医学部

64	栗飯原 賢一, 榊田 志保, 原 倫世, 山上 紘規, 金子 遥祐, 宮高 紘輔, 堀 太貴, 湯浅 智之, 中村 信元, 遠藤 逸朗. Estimated Pulse Wave Velocity (ePWV) による血管機能の臨床的妥当性評価. 第 47 回日本高血圧学会総会. 2025 年 10 月 19 日. 東京
65	栗飯原 賢一, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 細木 美苗, 金子 遥祐, 山上 紘規, 原 倫世, 乙田 敏城, 湯浅 智之, 遠藤 逸朗. 当院心不全死亡患者における糖尿病の有無と臨床背景の検討. 日本糖尿病学会中国四国地方会 第 63 回総会. 2025 年 11 月 1 日. 岡山
66	山上 紘規, 平本 圭太, 大西 幸代, Ganbaatar Byambasuren, 原 倫世, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 佐藤 紀, 鹿島 正弘, 松岡 賢市, 遠藤 逸朗. 第 98 回日本内分泌学会学術総会 2025 年 6 月 5-7 日 千葉
67	Takahito Asai, Hiroki Yamagami, Itsuro Endo. Analysis of therapeutic effect in cases treated with Burosumab at our institute (Follow-up). 第 43 回日本骨代謝学会学術集会 2025 年 7 月 24-26 日 熊本
68	篠原 諒, 一木 菜緒, 高田千晶, 浅井孝仁, 原 倫世, 山上 紘規, 遠藤 逸朗. 下垂体炎との鑑別を要した Tolosa-Hunt 症候群の一例. 第 25 回日本内分泌学会四国支部学術集会 2025 年 9 月 6 日
69	浅井孝仁, 山上紘規, 佐藤寛子, 坂尾祐佳子, 安井沙耶, 原倫世, 三井由加里, 倉橋清衛, 小谷裕美 3, 遠藤逸朗. 当院におけるブラスマブ投与症例の解析. 第 27 回日本骨粗鬆症学会 2025 年 9 月 12-14 日 千葉
70	一木 菜緒, 原 倫世, 篠原 諒, 浅井 孝仁, 高田 千晶, 山上 紘規, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 栗飯原 賢一. 2 型糖尿病におけるフィブリノゲン/アルブミン比の腎予後予測能と背景因子の解析. 日本糖尿病学会中国四国地方会第 63 回総会 2025 年 10 月 31 日-11 月 1 日 愛媛
71	高田 千晶, 原 倫世, 一木 菜緒, 篠原 諒, 浅井 孝仁, 山上 紘規, 黒田 暁生, 遠藤 逸朗, 松久 宗英, 栗飯原 賢一. 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患合併 2 型糖尿病患者における肝線維化リスク因子の検討. 日本糖尿病学会中国四国地方会第 63 回総会 2025 年 10 月 31 日-11 月 1 日 愛媛
72	浅井 孝仁, 山上 紘規, 一木 菜緒, 篠原 諒, 高田 千晶, 原 倫世, 山下 雄也, 黒田 暁生, 松久 宗英, 遠藤 逸朗. ステロイド治療により寛解した B 型インスリン抵抗症の 1 例. 第 35 回臨床内分泌代謝 Update 2025 年 11 月 7-8 日 長野
73	藤井 志朗, 曾我部 公子, 前田 悠作, 住谷 龍平, 八木 ひかる, 大浦 雅博, 原田 武志, 中村 信元, 三木 浩和, 松岡 賢市. 診断に苦慮した Ph 陽性 B-ALL/LBL の 1 例. 臨床血液(0485-1439)66 巻 4 号 Page292-293(2025.04)
74	拜郷 大翔(岡山大学病院 臨床研修部), 久保田 紗矢, 肥山 隆一郎, 上野 雅也, 上田 弥生, 林野 健太, 藤原 加奈子, 橋田 里妙, 小林 宏紀, 近藤 匠, 清家 圭介, 藤原 英晃, 浅田 騰, 遠西 大輔, 藤井 敬子, 藤井 伸治, 松岡 賢市, 前田 嘉信. 古典的ホジキンリンパ腫に対する同種造血幹細胞移植後に EBV 陽性 T-PTLD を発症した 1 例. 臨床血液(0485-1439)66 巻 4 号 Page281(2025.04)
75	山上 紘規, 平本 圭太, 大西 幸代, Byambasuren Ganbaatar, 原 倫世, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 佐藤 紀, 鹿島 正弘, 松岡 賢市, 遠藤 逸朗. 当院における低 ALP 血症症例の解析. 第 98 回日本内分泌学会学術総会 2025 年 6 月 5 日~7 日 千葉
76	栗飯原 賢一, 上元 良子, 関根 明子, 原 倫世, 山上 紘規, 金子 遥祐, 宮高 紘輔, 湯浅 智之, 河野 豊, 中村 信元, 遠藤 逸朗, 松岡 賢市. eNOS 欠損 MASLD モデルマウスにおけるペマフィブラートの影響に関する検討. 第 98 回日本内分泌学会学術総会 2025 年 6 月 5 日~7 日 千葉
77	阪本 朋香(徳島大学 大学院保健科学研究科保健学専攻), 今井 芳枝, 三木 こずえ, 藤井 志朗, 三木 浩和, 曾我部 公子, 大浦 雅博, 住谷 龍平, 八木 ひかる, 高橋 真美子, 原田 武志, 前田 悠作, 中村 信元, 松岡 賢市, 今井 芳枝. 治療過程にある多発性骨髄腫患者が治療を続ける意味. 第 39 回日本がん看護学会学術集会 2025.2.22-23 札幌
78	秋澤 聡秀(徳島大学病院 卒後臨床研修センター), 原 倫世, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 山上 紘規, 添木 武, 遠藤 逸朗. 高クロール血症を契機に診断に至った市販鎮痛薬による慢性ブロム中毒の 1 例. 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page65-68(2025.06)
79	伊藤 直司(徳島大学病院 卒後臨床研修センター), 西條 良仁, 手束 一貴, 高橋 智子, 谷 彰浩, 坂東 遼, ロバート・ゼング, 高橋 智紀, 門田 宗之, 川端 豊, 上野 理絵, 原 知也, 松浦 朋美, 伊勢 孝之, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 添木 武, 若槻 哲三, 佐田 政隆, 松本 遼太, 秦 広樹. 健康診断を契機に発見された巨大冠動脈瘤の一例. 四国医学雑誌(0037-3699)80 巻 5-6 号 Page261-262(2025.02)

80	秋澤 聡秀(徳島大学病院 卒後臨床研修センター), 原 倫世, 坂尾 祐佳子, 佐藤 寛子, 浅井 孝仁, 安井 沙耶, 山上 紘規, 遠藤 逸朗, 添木 武 高クロール血症を契機に診断に至った市販鎮痛薬による慢性ブロム中毒の1例 四国医学雑誌(0037-3699)80巻5-6号 Page261(2025.02)
81	良元 俊昭(徳島大学 消化器外科), 徳永 卓哉, 西 正暁, 柏原 秀也, 中尾 寿宏, 高須 千絵, 和田 佑馬, 森根 裕二 消化管:消化管疾患診療の現況と展望 およびその取り組み 局所進行下部直腸癌に対する経肛門アプローチ SOX+Bevacizumab による術前 CRT の有用性 第124回日本消化器病学会四国支部例会 2025年11月15日・16日 徳島
82	西 正暁, 和田 佑馬, 高須 千絵, 徳永 卓哉, 中尾 寿宏, 柏原 秀也, 良元 俊昭, 森根 裕二 消化管:消化管疾患診療の現況と展望 およびその取り組み 進行胃癌の根治をめざして リキッドバイオプシーによる胃癌腹膜播種予測と切除不能進行胃癌に対する ICI+化学療法後の外科手術 第124回日本消化器病学会四国支部例会 2025年11月15日・16日 徳島
83	和田 佑馬(徳島大学 消化器移植外科), 西 正暁, 高須 千絵, 徳永 卓哉, 柏原 秀也, 良元 俊昭 リキッドバイオプシーによる早期胃癌リンパ節転移の予測 第63回日本癌治療学会学術集会 2025年10月16日(木)～18日(土) 横浜
84	徳永 卓哉(徳島大学病院 消化器・移植外科), 柏原 秀也, 中尾 寿宏, 良元 俊昭, 西 正暁, 高須 千絵, 和田 佑馬, 森根 裕二 進行大腸がんの術前治療の最前線 下部直腸癌に対する Hybrid 側方リンパ節郭清の有用性 第63回日本癌治療学会学術集会 2025年10月16日(木)～18日(土) 横浜
85	石川 大地(徳島大学病院 消化器・移植外科), 宮崎 克己, 良元 俊昭, 和田 佑馬, 高須 千絵, 柏原 秀也, 西 正暁, 徳永 卓哉, 島田 光生 直腸癌に対する経肛門アプローチの有用性に関する検討 第80回日本消化器外科学会総会 2025年7月16日(水曜日)～18日(金曜日) 神戸
86	柏原 秀也(徳島大学病院 消化器・移植外科), 徳永 卓哉, 良元 俊昭, 和田 佑馬, 高須 千絵, 西 正暁, 島田 光生 直腸癌手術における hinotori の導入とその課題(Introduction and problems of hinotori Surgical Robot System in robotic rectal surgery) 第80回日本消化器外科学会総会 2025年7月16日(水曜日)～18日(金曜日) 神戸
87	和田 佑馬(徳島大学病院 消化器・移植外科), 西 正暁, 高須 千絵, 徳永 卓哉, 柏原 秀也, 良元 俊昭, 島田 光生 エクソソーム miRNA を用いた早期胃癌におけるリンパ節転移の予測 第80回日本消化器外科学会総会 2025年7月16日(水曜日)～18日(金曜日) 神戸
88	西 正暁(徳島大学病院 消化器・移植外科), 高須 千絵, 和田 佑馬, 徳永 卓哉, 柏原 秀也, 石川 大地, 良元 俊明, 島田 光生 ロボット支援胃癌手術 da Vinci Surgical system vs. Hinotori(Robotic gastrectomy for gastric cancer: da Vinci Surgical system vs. Hinotori) 第80回日本消化器外科学会総会 2025年7月16日(水曜日)～18日(金曜日) 神戸
89	徳永 卓哉(徳島大学病院 消化器・移植外科), 柏原 秀也, 西 正暁, 高須 千絵, 石川 大地, 和田 佑馬, 良元 俊昭, 宮崎 克己, 島田 光生 下部消化管 MIS による大腸癌拡大手術の手法とその意義 直腸癌に対する経肛門アプローチを用いた拡大手術(Extended resection using trans-anal/perineal approach for rectal cancer) 第80回日本消化器外科学会総会 2025年7月16日(水曜日)～18日(金曜日) 神戸
90	池本 哲也(徳島大学病院 安全管理部), 寺奥 大貴, 島田 光生, 山田 眞一郎, 柏原 秀也, 高須 千絵, 齋藤 裕, 西 正暁, 徳永 卓哉, 森根 裕二 消化器外科医に求められる医療安全管理構築・実践とその未来像 諸制度の現状と自施設での活用 第80回日本消化器外科学会総会 2025年7月16日(水曜日)～18日(金曜日) 神戸
91	三橋 遼太(徳島大学), 新家 崇義, 蓑手 鴻, 松下 知樹, 音見 暢一, 久保 典子, 大塚 秀樹, 坂東 良美, 上原 久典, 西岡 安彦, 原田 雅史 直腸癌治療前の CT にて発見された肺内神経鞘腫の1例 第65回日本核医学会学術総会 2025年11月13日(木)～15日(土) 京都
92	音見 暢一(徳島大学 医), 松田 憲武, 大塚 秀樹, 笠井 亮佑, 大谷 環樹, 阿實 翔太, 新家 崇義, 原田 雅史, 伊勢 孝之, 八木 秀介, 佐田 政隆 99mTc-PYP SPECT/CT-based biomarker を用いた ATTR 型心臓アミロイドーシスのタファミジス治療効果判定 第65回日本核医学会学術総会 2025年11月13日(木)～15日(土) 京都
93	松下 知樹(徳島大学病院 放), 音見 暢一, 笠井 亮佑, 川端 悠加, 國金 大和, 松浦 朋美, 添木 武, 佐田 政隆, 新家 崇義, 大塚 秀樹, 原田 雅史 99mTc-MIBI-SPECT/CT を用いた CRT-D 治療前後の心筋症病態評価 第65回日本核医学会学術総会 2025年11月13日(木)～15日(土) 京都
94	三橋 遼太(徳島大学病院 放射線科), 松元 友暉, 音見 暢一, 新家 崇義, 和泉 唯信, 藤田 浩司, 松原 知康, 沼田 周助, Taniguchi Yo, Takizawa Masahiro, 原田 雅史 軽度認知障害(MCI)における QSM とアミ

	ロイド PET の統合的解析 認知機能との関連評価 第 65 回日本核医学会学術総会 2025 年 11 月 13 日 (木)～15 日 (土) 京都
95	三宅 南帆(徳島大学病院 放射線診断科), 新家 崇義, 大川 七子, 森下 丈, 下村 真奈, 古谷 光平, 笠井 嘉人, 平岡 淳一郎, 松下 知樹, 音見 暢一, 西庄 俊彦, 平木 隆夫, 西良 浩一, 原田 雅史 メロレオストーシスの臨床像と画像診断 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
96	廣島 由夏(徳島大学病院 放射線診断科), 新家 崇義, Badrakhzul Zayabat, 松下 知樹, 平岡 淳一郎, 音見 暢一, 西庄 俊彦, 西良 浩一, 石澤 啓介, 原田 雅史 Dynamic C-11 methionine PET/CT を用いたテクスチャ解析の骨軟部腫瘍における有用性の検討 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
97	平岡 淳一郎(徳島大学病院 放射線診断科), 新家 崇義, ザヤバト バドラフル, 松下 知樹, 廣島 由夏, 音見 暢一, 原田 雅史, 西庄 俊彦, 西良 浩一, 坂東 良美, 上原 久典 Lipoma と ALT/WDLS の鑑別における MRI テクスチャ解析の診断能に関する初期検討 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
98	下村 真奈(徳島大学病院 放射線診断科), 新家 崇義, 三宅 南帆, 森下 丈, 古谷 光平, 音見 暢一, 生島 健太, 大豆本 圭, 古川 順也, 上原 久典, 久保 宜明, 橋本 一郎, 原田 雅史 尖圭コンジローマに合併し特徴的な肉眼的形態を示した乳房外パジェット病の一例 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
99	松下 知樹(徳島大学病院 放射線診断科), Bollos Leah, 音見 暢一, 藤田 浩司, 和泉 唯信, 新家 崇義, 大塚 秀樹, 原田 雅史 当院における Creutzfeldt-Jakob 病と交叉性遠隔性小脳障害についての検討 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
100	音見 暢一(徳島大学病院 放射線科), 新家 崇義, 大塚 秀樹, 高岡 友紀子, 原田 雅史, 松原 知康, 藤田 浩司, 和泉 唯信 アミロイド PET による右頭頂葉集積と CDR-SB の関連性 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
101	Badarchin Manduukhai(徳島大学病院 放射線科), 音見 暢一, 新家 崇義, 松下 知樹, 高岡 友紀子, 大塚 秀樹, 原田 雅史, 松原 知康, 藤田 浩司, 和泉 唯信, 富岡 有紀子, 中瀧 理仁, 沼田 周助 アミロイド PET の量的評価 116 例における CortexID Suite と VIZCalc の比較分析 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2025 年 10 月 17 日 (金)～19 日 (日) 愛知
102	森下 丈(徳島大学病院 放射線科), 音見 暢一, 新家 崇義, 大塚 秀樹, 原田 雅史, 松原 知康, 藤田 浩司, 和泉 唯信 レカネマブ治療後に異なる PET 所見を示した 2 症例 第 65 回日本核医学会学術総会 2025 年 11 月 13 日 (木)～15 日 (土) 京都
103	高岡 友紀子(徳島大学病院 放射線診断科), 笠井 亮佑, 川端 悠加, 大塚 秀樹, 音見 暢一, 新家 崇義, 佐田 政隆, 原田 雅史 心筋 SPECT において CTAC が腹部集積に与える影響について 第 65 回日本核医学会学術総会 2025 年 11 月 13 日 (木)～15 日 (土) 京都
104	森下 丈(徳島大学病院 放射線診断科), 音見 暢一, 新家 崇義, 松下 知樹, 大塚 秀樹, 原田 雅史, 松原 知康, 藤田 浩司, 和泉 唯信 レカネマブ治療によりアミロイド PET 陰性化を示したアルツハイマー病の一例 第 65 回日本核医学会学術総会 2025 年 11 月 13 日 (木)～15 日 (土) 京都
105	平岡 淳一郎(徳島大学病院 放射線診断科), 新井 悠太, 岡田 直子, 松下 知樹, 廣島 由夏, 新家 崇義, 原田 雅史, 岩本 誠司, 大豆本 圭, 楠原 義人, 曾我部 公子, 藤井 志朗 von Willebrand 病により術後止血に難渋した 1 例 Japanese Journal of Radiology(1867-1071)43 巻 Suppl. Page44(2025.02)
106	新家 崇義(徳島大学病院 放射線診断科), 松下 知樹, 音見 暢一, 久保 典子, 原田 雅史, 乾 宏彰, 吉田 加奈子, 西村 正人, 岩佐 武, 坂東 良美, 上原 久典, 新家 朱理 卵巣腫瘍における Dynamic F-18 FDG PET/CT の初期経験 Japanese Journal of Radiology(1867-1071)43 巻 Suppl. Page43(2025.02)
107	富永 誠記(徳島大学病院 患者支援センター), 中村 信元, 三木 浩和, 北上 早紀, 岡本 秀樹, 後藤 由香, 井口 和子, 新井 優子, 泉 侑希, 矢野 由美子, 後藤 さおり, 青田 桂子, 菅 俊行, 渡邊 浩良, 兼本 ひろみ, 高橋 真理, 大坂 朱美, 松岡 賢市 血友病診療におけるシステム理論を用いたソーシャルワーク実践一考察 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page53-58(2025.06)
108	茂木 勝矢(徳島大学病院 卒後臨床研修センター), 前田 悠作, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, 原田 武志, 松岡 賢市, 中村 信元, 三木 浩和 急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植により改善した慢性血小板減少症の一例 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page87(2025.06)

109	堀 太貴(徳島県立海部病院 内科), 金子 遙祐, 河田 沙紀, 清水 一磨, 細木 美苗, 森 建介, 栗飯原 賢一, 中村 信元 生活習慣病患者における年間ヘモグロビン変化の因子解析からみた肝腎-血液連関の検討 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page82(2025.06)
110	堀 太貴(徳島県立海部病院 内科・総合診療科), 金子 遙祐, 河田 沙紀, 川人 圭祐, 喜多 大樹, 清水 一磨, 細木 美苗, 森 建介, 栗飯原 賢一, 中村 信元, 稲葉 香織, 稲葉 圭佑, 影治 照喜, 浦岡 秀行 高齢者内科救急における Respiratory Adjusted Shock Index(RASI)の有用性 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page74(2025.06)
111	祖川 麻衣子(JA 徳島厚生連阿南医療センター), 赤澤 啓人, 辻 誠士郎, 中村 信元 汎発性帯状疱疹の2例 西日本皮膚科(0386-9784)87 巻 2 号 Page165(2025.04)
112	堀 太貴(徳島県立海部病院 内科), 金子 遙祐, 河田 沙紀, 川人 圭祐, 喜多 大樹, 清水 一磨, 細木 美苗, 森 建介, 栗飯原 賢一, 中村 信元, 稲葉 香織, 稲葉 圭佑, 影治 照喜, 浦岡 秀行 高齢者内科救急における Respiratory adjusted shock index の有用性 四国医学雑誌(0037-3699)80 巻 5-6 号 Page255(2025.02)
113	堀 太貴(徳島県立海部病院 内科・総合診療科), 石田 晃基, 金子 遙祐, 川人 圭祐, 別宮 彰起, 細木 美苗, 森 建介, 栗飯原 賢一, 中村 信元, 稲葉 香織, 稲葉 圭佑, 伊丹 加奈子, 勝瀬 昌代, 花岡 賀美, 影治 照喜, 浦岡 秀行 非がん在宅療養患者における予後予測指標の有用性についての検討 四国医学雑誌(0037-3699)80 巻 5-6 号 Page252(2025.02)
114	柴田 祥伍(徳島大学 大学院医歯薬学研究部消化器内科学), 花田 康平, 米澤 真衣, 田中 宏典, 河野 豊, 岡本 耕一, 曾我部 正弘, 宮本 弘志, 佐藤 康史, 高山 哲治 びまん浸潤型の多発肝転移により急速に肝不全に至った乳癌の1例 第124回日本消化器病学会四国支部例会 2025年11月15日(土)・16日(日) 徳島
115	山口 あき(徳島大学 医学部 Student Lab), 岡久 稔也, 四宮 遼, 末内 辰尚, 香川 美和子, 上田 浩之, 門田 美由香, 米澤 真衣, 田中 宏典, 喜田 慶史, 河野 豊, 曾我部 正弘, 佐藤 康史, 大野 将樹, 高山 哲治 腸音計を用いた日常生活での腸運動解析結果の表示法 第124回日本消化器病学会四国支部例会 2025年11月15日(土)・16日(日) 徳島
116	米澤 真衣(徳島大学病院 消化器内科), 田中 宏典, 柴田 祥伍, 花田 康平, 田中 貴大, 友成 哲, 河野 豊, 宮本 弘志, 佐藤 康史, 高山 哲治 肝胆膵肝胆膵疾患診療の現況と展望, およびその取り組み 当科で施行した経頸静脈的肝生検(TJLB)の有用性に関する後ろ向き検討 第124回日本消化器病学会四国支部例会 2025年11月15日(土)・16日(日) 徳島
117	三橋 威志(徳島大学病院 消化器内科), 河野 豊, 高山 哲治 肝疾患におけるバイオマーカー 肝細胞癌において ALDOA は DNA 修復および G2/M チェックポイントに協調してプラチナ系抗がん剤および PARP 阻害薬の感受性を規定する 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.2 Page A585(2025.09)
118	速水 優花(JA 徳島厚生連阿南医療センター 看護部), 照本 美保, 河野 豊 肝炎医療コーディネーターの活動や動機を維持する因子を探索するアンケート調査 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.3 Page A818(2025.10)
119	藤田 望(徳島大学病院 検査部), 上田 舞, 佐藤 美智子, 立木 佐知子, 後藤 由香, 中尾 隆之, 河野 豊, 高山 哲治 当院の肝炎医療コーディネーターを中心とした HBV 再活性化対策の取り組みについて 職種を超えた協働体制の構築を目指して 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.3 Page A816(2025.10)
120	田中 宏典(徳島大学病院 消化器内科), 河野 豊, 高山 哲治 Advanced stage 肝癌に対する治療戦略(肝癌) 進行肝細胞癌に対する Atezolizumab+Bevacizumab 療法の長期治療成績 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.3 Page A790(2025.10)
121	佐々木 遼太(徳島大学 医学部消化器内科), 花田 康平, 米澤 真衣, 田中 宏典, 河野 豊, 岡本 耕一, 曾我部 正弘, 宮本 弘志, 佐藤 康史, 高山 哲治 デュルバルマブ単剤療法にて奏功が得られた関節リウマチ合併肝細胞癌の1例 第123回日本消化器病学会四国支部例会 2025年6月21日(土)・22日(日) 高知
122	阿部 愛美(徳島大学 医学部 Student Lab), 岡久 稔也, 末内 辰尚, 香川 美和子, 花田 康平, 勢井 萌都子, 藤本 将太, 岡田 明子, 米澤 真衣, 喜田 慶史, 河野 豊, 曾我部 正弘, 高山 哲治 ベルト型腸音解析システムを用いた日常腸音解析による過敏性腸症候群の診断 第123回日本消化器病学会四国支部例会 2025年6月21日(土)・22日(日) 高知
123	三宅 孝典(徳島大学 大学院医歯薬学研究部消化器内科学), 藤本 将太, 樫原 孝典, 河野 豊, 高山 哲治 消化管・消化器疾患に対する診断と治療の最前線 EGFR を標的とした食道がんの内視鏡的光分子イ

	メーキング研究 汎用型自作蛍光内視鏡を用いた観察 第 123 回日本消化器病学会四国支部例会 2025 年 6 月 21 日(土)・22 日(日) 高知
124	田中 宏典(徳島大学 医歯薬学研究部消化器内科学), 花田 康平, 米澤 真衣, 河野 豊, 高山 哲治 SWE と UGAP を用いた肝線維化, 脂肪化の評価 超音波医学(1346-1176)52 巻 Suppl. Page S438(2025.04)
125	手束 宏明(徳島大学病院 卒後臨床研修センター), 花田 康平, 田中 宏典, 上田 浩之, 米澤 真衣, 友成 哲, 河野 豊, 高山 哲治, 藤井 志朗 急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植 13 年後に HBV 再活性化を来した HBV 既感染の 1 例 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page89(2025.06)
126	久次米 祥子(JA 徳島厚生連阿南医療センター 臨床検査科), 照本 美保, 河野 豊, 板垣 達三, 滝下 誠, 佐藤 康史, 高山 哲治 検査技師肝炎医療コーディネーターが主体となった, 院内における肝炎ウイルス陽性者の拾い上げシステムの構築とその成果について 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.1 Page A267(2025.04)
127	小西 友(JA 徳島厚生連阿南医療センター 患者支援センター), 照本 美保, 河野 豊, 板垣 達三, 滝下 誠, 佐藤 康史, 高山 哲治 公認心理師/臨床心理士肝炎医療コーディネーターが主体となった, 依存症非専門医療機関におけるアルコール使用障害患者と家族への介入について 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.1 Page A256(2025.04)
128	立木 佐知子(徳島大学病院 患者支援センター肝疾患相談室), 福田 直也, 田中 宏典, 山田 眞一郎, 河野 豊, 島田 光生, 矢野 佳世 肝炎医療コーディネーター養成講習会におけるグループワークの有効性について考える 新規受講者アンケート結果より 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.1 Page A255(2025.04)
129	田中 宏典(徳島大学病院 消化器内科), 河野 豊, 高山 哲治 肝がん集学的治療における局所療法 肝細胞癌に対する定位放射線療法の治療成績 肝臓(0451-4203)66 巻 Suppl.1 Page A176(2025.04)
130	田中 宏典(徳島大学病院 消化器内科), 米澤 真衣, 花田 康平, 上田 浩之, 曾我部 正弘, 河野 豊, 高山 哲治 MRI を用いた脂肪性肝疾患の脂肪化・線維化評価の有用性 日本消化器病学会雑誌(0446-6586)122 巻臨増総会 Page A378(2025.03)
131	曾我部 正弘(徳島大学病院 消化器内科), 香川 美和子, 末内 辰尚, 檜原 孝典, 喜田 慶史, 友成 哲, 河野 豊, 佐藤 康史, 岡久 稔也, 高山 哲治 「飲」「食」と消化器疾患の新知見 逆流性食道炎発症への飲酒の影響と口腔内細菌との関連性 日本消化器病学会雑誌(0446-6586)122 巻臨増総会 Page A175(2025.03)
132	良元俊昭, 西正暁, 徳永卓哉, 柏原秀也, 高須千絵, 和田佑馬, 石川大地, 宮崎克己, 武原悠花子, 島田光生 光受容体をターゲットとする、青色 LED による大腸癌治療法の開発 第 125 回日本外科学会定期学術集会 2025/4/10-12 仙台
133	高須千絵, 西正暁, 和田佑馬, 徳永卓哉, 柏原秀也, 石川大地, 良元俊昭, 島田光生 高齢者フレイル胃癌患者における栄養・運動リハビリの意義: 短期・長期成績改善を目指した取り組み 第 125 回日本外科学会定期学術集会 2025/4/10-12 仙台
134	石川大地, 徳永卓哉, 宮崎克己, 宮崎克己, 良元俊昭, 和田佑馬, 高須千絵, 柏原秀也, 西正暁, 島田光生 傾向スコア解析を用いた下部直腸癌に対する TaTME, TpAPR の有用性に関する検討 第 125 回日本外科学会定期学術集会 2025/4/10-12 仙台
135	和田佑馬, 西正暁, 高須千絵, 徳永卓哉, 柏原秀也, 石川大地, 良元俊昭, 島田光生 エクソソーム miRNA を用いた早期胃癌におけるリンパ節転移の予測 第 125 回日本外科学会定期学術集会 2025/4/10-12 仙台
136	徳永卓哉, 柏原秀也, 中尾寿宏, 良元俊昭, 西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 森根裕二 他臓器浸潤下部直腸癌に対する経肛門アプローチを用いた低侵襲手術- SOX+Bevacizumab による術前 CRT の有用性 第 100 回中国四国外科学会総会・第 30 回中国四国内視鏡外科研究会 2025/9/11-12 岡山
137	柏原秀也, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 良元俊昭, 西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 森根裕二 経肛門アプローチにおける術中ホログラム手術支援の有用性 第 100 回中国四国外科学会総会・第 30 回中国四国内視鏡外科研究会 2025/9/11-12 岡山
138	西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 柏原秀也, 良元俊昭, 森根裕二 hinotori を用いたロボット支援胃癌手術-da Vinci Surgical system vs. hinotoriTM- 第 100 回中国四国外科学会総会・第 30 回中国四国内視鏡外科研究会 2025/9/11-12 岡山 良元俊昭, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 柏原秀也, 西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 森根裕二 経肛門アプローチを用いた直腸癌に対する拡大手術 第 79 回手術手技研究会 2025/11/7-8 大阪
139	西正暁 重要演題(口演): 胃症例報告 3 第 87 回日本臨床外科学会学術集会 2025/11/20-22 東京

140	徳永卓哉, 柏原秀也, 中尾寿宏, 良元俊昭, 西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 森根裕二 他臓器浸潤局所進行下部直腸癌に対する経肛門アプローチ 第 87 回日本臨床外科学会学術集会 2025/11/20-22 東京
141	西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 柏原秀也, 良元俊昭, 森根裕二 ロボット支援胃癌手術の役割: da Vinci Surgical system vs. Hinotori™ 第 87 回日本臨床外科学会学術集会 2025/11/20-22 東京
142	和田佑馬, 西正暁, 高須千絵, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 柏原秀也, 良元俊昭, 森根裕二 リキッドバイオプシーを用いた早期胃癌におけるリンパ節転移の予測 第 87 回日本臨床外科学会学術集会 2025/11/20-22 東京
143	良元俊昭, 西正暁, 中尾寿宏, 徳永卓哉, 柏原秀也, 高須千絵, 和田佑馬, 武原悠花子, 森根裕二 青色 LED 光照射による新たな大腸癌治療法の開発 第 87 回日本臨床外科学会学術集会 2025/11/20-22 東京
144	徳永卓哉, 柏原秀也, 中尾寿宏, 良元俊昭, 西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 森根裕二 直腸癌手術における XR 技術を活用した経肛門アプローチ 第 38 回日本内視鏡外科学会総会 2025/12/11-13 横浜
145	西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 徳永卓哉, 柏原秀也, 中尾寿宏, 良元俊昭, 森根裕二 Hinotori™を用いたロボット支援胃癌手術の有用性 第 38 回日本内視鏡外科学会総会 2025/12/11-13 横浜
146	柏原秀也, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 良元俊昭, 西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 森根裕二 直腸癌手術における hinotori の導入とその応用 第 38 回日本内視鏡外科学会総会 2025/12/11-13 横浜
147	徳永卓哉, 和田佑馬, 中尾寿宏, 西正暁, 柏原秀也, 高須千絵, 良元俊昭, 森根裕二 下部直腸癌に対する SOX+Bev 併用術前化学放射線療法 of 長期成績と効果予測 第 36 回日本消化器癌発生学会総会 2025/12/16-17 福岡
148	西正暁, 和田佑馬, 高須千絵, 徳永卓哉, 柏原秀也, 中尾寿宏, 良元俊昭, 森根裕二, 島田光生 リキッドバイオプシーによる胃癌腹膜播種予測と切除不能進行胃癌に対する ICI+化学療法後の外科手術 第 36 回日本消化器癌発生学会総会 2025/12/16-17 福岡
149	柏原秀也, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 良元俊昭, 和田佑馬, 高須千絵, 西正暁, 森根裕二 直腸癌手術における hinotori の有用性 第 38 回四国内視鏡外科研究会 2026/2/21 香川
150	西正暁, 高須千絵, 和田佑馬, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 柏原秀也, 良元俊昭 Hinotori Surgical System を用いたロボット支援胃癌手術 第 98 回日本胃癌学会総会 2026/3/4-6 沖縄
151	和田佑馬, 西正暁, 高須千絵, 徳永卓哉, 中尾寿宏, 柏原秀也, 良元俊昭, 森根裕二 胃癌術後再発におけるエクソソーム miRNA の有用性 第 98 回日本胃癌学会総会 2026/3/4-6 沖縄
152	Chie Takasu, Masaaki Nishi, Yuma Wada, Takuya Tokunaga, Toshihiro Nakao, Hideya Kashiara, Toshiaki Yoshimoto Development of a machine learning prediction of the recurrence following gastrectomy 第 98 回日本胃癌学会総会 2026/3/4-6 沖縄
153	西正暁 消化管外科の低侵襲手術と外科研究 第 272 回徳島医学会学術集会 2026/3/8 徳島

<論文発表> (英文原著)

1	Inoue Y, Tenshin H, Teramachi J, Sumitani R, Oda A, Maeda Y, Oura M, Sogabe K, Maruhashi T, Takahashi M, Fujii S, Nakamura S, Miki H, Hara T, Endo I, Kagawa K, Ozaki S, Hiasa M, Harada T, Abe M. Elotuzumab-mediated ADCC with Th1-like Vγ9Vδ2 T cells to disrupt myeloma-osteoclast interaction. Cancer Sci. 2025 Feb;116(2):559-563.
2	Yoichi Otomi, Natsumi Teshima, Takayoshi Shinya, Hideki Otsuka, Masafumi Harada. 11C-Methionine PET/CT in Cryptococcus Meningoencephalitis. Clin Nucl Med. 2025 Feb 1;50(2):181-182.
3	Nishi M, Nakasu C, Yoshimoto T, Tokunaga T, Kashiara TH, Takasu C, et al. Light-emitting diode irradiation targets aerobic glycolysis in cancer-associated fibroblasts to inhibit metabolic coupling with colon cancer cells. Ann Gastroenterol Surg. 2025;00:1-8.

4	<u>Nishi M</u> , Yamashita S, Takasu C, Wada Y, Yoshikawa K, Tokunaga T, Nakao T, Kashiara H, Yoshimoto T, Shimada M. Role of mast cell in locally advanced rectal cancer treated with neoadjuvant chemoradiotherapy. BMC Cancer. 2025 Jan 17;25(1):99.
5	Kashiara H, Tokunaga T, Yoshimoto T, Wada Y, Takasu C, <u>Nishi M</u> , Shimada M. Feasibility of hybrid robotic rectal surgery. Surg Today. 2025 Feb 8. doi: 10.1007/s00595-025-03001-5.
6	Wada Y, <u>Nishi M</u> , Tokunaga T, Kashiara H, Takasu C, Yoshimoto T, Shimada M. Alteration of Apparent Diffusion Coefficient Measurements Predict Survival Outcomes During Neoadjuvant Chemoradiotherapy in Locally Advanced Rectal Cancer. In Vivo. 2025 Mar-Apr;39(2):927-935.
7	Yagi S, Kadota M, Bando R, Miyamoto R, Morino H, Kakutani A, Kubo Y, Ise T, Ueno R, Hara T, Kusunose K, Yamaguchi K, Yamada H, <u>Soeki T</u> , Wakatsuki T, Fukuda D, Sata M. Pulmonary Arterial Hypertension in Neurofibromatosis Type 1: A Case with a Novel NF1 Gene Mutation. Intern Med. 2025;64(5):725-728.
8	Okamoto K, Shinomiya R, Ueda H, Kawaguchi T, Kagemoto K, Okada Y, <u>Kawano Y</u> , Sogabe M, Miyamoto H, Sato Y, Takayama T. The Future Pioneered by Intestinal Organoid Culture Technology. J Med Invest. 2025;72(3.4):235-240.
9	Kashiara T, <u>Kawano Y</u> , Fujimoto S, Segawa T, Shimizu M, Miyake T, Okamoto K, Muguruma N, Sato Y, Takayama T. Molecular imaging of gastrointestinal stromal tumor using anti-c-KIT antibody and its fragments. J Gastroenterol. 2025 Aug;60(8):956-966.
10	Tomonari T, Shimose S, Saeki I, Tani J, Honma Y, Ito T, Takeuchi M, Naito T, Takeuchi Y, Sasaki R, Sasaki K, Hatanaka T, Kakizaki S, Kanayama Y, Naganuma A, Tanabe N, Tanaka H, <u>Kawano Y</u> , Sato Y, Nishina S, Miyaaki H, Otsuka M, Kawashima H, Harada M, Kobara H, Takami T, Kawaguchi T, Takayama T; Hepatology InVestigator Experts in Japan (HIVE-J) Study Group. A novel approach to evaluate the therapeutic efficacy of durvalumab and tremelimumab combination therapy in hepatocellular carcinoma. Hepatol Res. 2025 Aug;55(8):1184-1192.
11	Okada Y, Sato Y, Shinomiya R, Miyake T, Takahashi T, Yokoyama R, Mitsui Y, Tomonari T, Okamoto K, Sogabe M, Miyamoto H, <u>Kawano Y</u> , Takayama T. Conditions for effective use of liposomal irinotecan with fluorouracil and leucovorin in unresectable pancreatic cancer after FOLFIRINOX treatment. Int J Clin Oncol. 2025 Jun;30(6):1201-1210.
12	Kagemoto K, Okamoto K, Okada Y, Sei M, Fujimoto S, Yagi M, Mitsuhashi T, Ueda H, Yoshimoto T, Kashiara T, Kawaguchi T, Kida Y, Mitsui Y, <u>Kawano Y</u> , Sogabe M, Miyamoto H, Sato Y, Muguruma N, Takayama T. Clinicopathological evaluation of the efficacy of endoscopic treatment for sessile serrated lesions comparing endoscopic mucosal resection, cold snare polypectomy, and underwater endoscopic mucosal resection. DEN Open. 2025 Jan 3;5(1):e70051.
13	Saijo Y, Yamada H, Yamaguchi N, Nishio S, Zheng R, Takahashi T, Hara T, Kadota M, Kawabata Y, Ueno R, Matsuura T, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, <u>Soeki T</u> , Wakatsuki T, Sata M. Diagnostic Utility of Relative Apical Sparing Index in Cardiac Amyloidosis Subtypes: A Comparative Study of Immunoglobulin Light Chain and Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy. Echocardiography. 2025;42(2):e7008.

14	Saijo Y, Yamada H, Yamaguchi N, Nishio S, Zheng R, Takahashi T, Hara T, Kadota M, Kawabata Y, Ueno R, Matsuura T, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, <u>Soeki T</u> , Wakatsuki T, Sata M. Clinical and Echocardiographic Characteristics of Left Atrial Diverticulum. Echocardiography. 2025 42(5):e70200.
15	Yagi I, Yagi S, Saijo Y, Yamada H, Sugano M, Zheng R, Kadota M, Ise T, Yamaguchi K, <u>Soeki T</u> , Wakatsuki T, Hata H, Sata M. Infective Endocarditis Complicated by Ventricular Septal Defect and Coarctation of the Aorta, Suspected on Auscultation and Phonocardiography. Intern Med. 2025;64(24):3526-3530.
16	Ito N, Yagi S, Takahashi T, Kawabata Y, Tezuka K, Matsuura T, Kadota M, Ise T, Yamaguchi K, Yamada H, <u>Soeki T</u> , Sata M. Angioedema presumably caused by hypersensitivity reactions to pacemaker implantation/ Journal of Cardiology Cases. Journal of Cardiology Cases 2025;32(5):191-193.
17	Takahashi T, <u>Soeki T</u> , Tezuka K, Matsuura T, Uematsu E, Aibara H, Bando R, Zheng R, Takahashi T, Saijo Y, Kawabata Y, Kadota M, Hara T, Ueno R, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Yamada H, Fukuda D, Sata M. Circulating mitochondrial cell-free DNA levels are associated with the recurrence of atrial fibrillation after catheter ablation for atrial fibrillation. Am Heart J Plus. 2025 Oct 14;60:100638.
18	Tezuka K, Yagi S, Kawabata Y, Aibara H, Bando R, Takahashi T, Zheng R, Takahashi T, Matsuura T, Saijo Y, Kadota M, Hara T, Ise T, Yamaguchi K, Yamada H, <u>Soeki T</u> , Sata M. Wellens' Syndrome with Positive T Wave in Lead aVR Suggesting Severe Three-Vessel Coronary Arterial Disease. J Med Invest.2025;72(3.4):451-454.
19	Otoda T, Aihara KI, Matsuoka KI, Takayama T. Galectin-3 and the Glyco-Inflammatory Axis: A Missing Link to Residual Cardiovascular Risk in Coronary. Artery Disease. Biomedicines. 2025 Dec 22;14(1):21.
20	Hori T, Aihara KI, Kawano Y, Watanabe T, Kaneko Y, Kawata S, Shimizu K, Hosoki M, Mori K, Otoda T, Yuasa T, Matsuoka KI, Nakamura S. Fibrosis-4 and 3 indices are independently associated with annual hemoglobin decline in individuals with metabolic disorders: A hospital-based retrospective cohort study. PLoS One.2025 Dec 12;20(12):e0338372.
21	Tani A, Soeki T, Suto K, Ozaki Y, <u>Aihara KI</u> , Sata M. Impact of Atrial Fibrillation Accompanied by Sarcopenia and Cellular Edema on the Prevalence of Heart Failure in Elderly Individuals. Int Heart J. 2025;66(5):780-785.
22	Miyataka K, Kaneko Y, Hori T, Yamaguchi Y, Tsuji S, Hara T, Yamagami H, Yoshida S, Otoda T, Yuasa T, Kuroda A, Harada T, Miki H, Nakamura S, Endo I, Matsuhisa M, Matsuoka KI, Aihara KI. Red blood cell distribution width is associated with renal tubular injury in individuals with type 2 diabetes. J Diabetes Investig. 2025 Dec;16(12):2191-2200.
23	Hara T, Yamagami H, Uemoto R, Sekine A, Kaneko Y, Miyataka K, Hori T, Ichimura- Shimizu M, Funamoto M, Harada T, Yuasa T, <u>Nakamura S</u> , Endo I, <u>Matsuoka KI</u> , <u>Kawano Y</u> , Tsuneyama K, Ikeda Y, <u>Aihara KI</u> . Pemaflibrate Ameliorates Steatotic Liver Disease Regardless of Endothelial Dysfunction in Mice. Antioxidants (Basel). 2025 Jul 20;14(7):891.
24	Otoda T, <u>Aihara KI</u> , Takayama T. Lysosomal Stress in Cardiovascular Diseases: Therapeutic Potential of Cardiovascular Drugs and Future Directions. Biomedicines. 2025 Apr 27;13(5):1053.
25	Ichihara Y, Mori H, Kamada M, Matsuura T, Saiyo K, Hyodo M, Tsutsumi R, Sakaue H, <u>Aihara KI</u> , Funaki M, Kuroda A, Matsuhisa M. Effects of high-intensity interval walking training on muscle strength, walking ability,

	and health-related quality of life in people with diabetes accompanied by lower extremity weakness: A randomized controlled trial. <i>J Diabetes Investig.</i> 2025 Apr;16(4):646-655.
26	Noma T, Wada Y, <u>Nishi M</u> , Teraoku H, Yamada S, Saito Y, Ikemoto T, Morine Y, Shimada M. The combination of CD8 and TIM3 expression predicts survival outcomes in hepatocellular carcinoma. <i>J Med Invest.</i> 2025;72(3.4):354-360.
27	Kashihara H, Tokunaga T, Yoshimoto T, Wada Y, Takasu C, <u>Nishi M</u> , Morine Y. Feasibility of Robotic Rectal Surgery Using the Hinotori Surgical Robot System. <i>World J Surg.</i> 2025 Nov;49(11):3078-3080.
28	Kawagoe R, Narasaka T, Mamiya T, <u>Nishi M</u> , Tsuchiya K. Endoscopic Closure Combined With the Endoscopic Submucosal Dissection Technique and Over-the-scope Clip for Chronic Aorto-esophageal Fistula: A Case Report. <i>DEN Open.</i> 2025 Sep2;6(1):e70202.
29	Wada Y, <u>Nishi M</u> , Takasu C, Tokunaga T, Kashihara H, Yoshimoto T, Shimada M. A Liquid Biopsy Assay of Exosomal miRNA for Non-invasive Identification of Lymph Node Metastasis in Early Gastric Cancer. <i>Ann Surg Oncol.</i> 2025 Dec;32(13):10213-10223.
30	Akiyama S, Ito Y, Shiroyama M, Suzuki S, Ochi M, Kamoshida T, Kashimura H, Iwamoto J, Saito R, Kaneko T, Ikezawa K, Hiroshima Y, Hattori J, Mamiya T, Fukuda S, Ikeda K, Ariga H, Kashimura J, <u>Nishi M</u> , Nagase M, Tsuchiya K. Increasing age at diagnosis raises malignancy risk and aminosalicylate intolerance influences therapeutic strategies in ulcerative colitis: a multicenter I-BRITE cohort study. <i>J Gastroenterol.</i> 2025 Oct;60(10):1259-1271.
31	<u>Nishi M</u> , Nakasu C, Yoshimoto T, Tokunaga T, Kashihara TH, Takasu C, Ishikawa D, Wada Y, Shimada M. Light-emitting diode irradiation targets aerobic glycolysis in cancer-associated fibroblasts to inhibit metabolic coupling with colon cancer cells. <i>Ann Gastroenterol Surg.</i> 2025 Feb 24;9(4):761-768.
32	Nakao T, Shimada M, Tokunaga T, <u>Nishi M</u> , Kashihara H, Takasu C, Wada Y, Yoshimoto T. The number of teeth is a prognostic indicator for chemotherapy in colorectal cancer. <i>J Med Invest.</i> 2025;72(1.2):134-138.
33	<u>Nishi M</u> , Takasu C, Wada Y, Tokunaga T, Kashihara H, Ishikawa D, Yoshimoto T, Nakasu C, Shimada M. Surgical Technique of Robotic Distal Gastrectomy for Gastric Cancer Using the Hinotori Surgical System. <i>Surg Laparosc Endosc Percutan Tech.</i> 2025 Jun 1;35(3):e1369.
34	Kashihara H, Tokunaga T, Yoshimoto T, Wada Y, Takasu C, <u>Nishi M</u> , Shimada M. Feasibility of hybrid robotic rectal surgery. <i>Surg Today.</i> 2025 Aug;55(8):1138-1142.
35	Matsushita T, <u>Shinya T</u> , Nishisho T, Sairyo K, Bando Y, Uehara H, Harada M. The Diagnostic Ability of Texture Analysis in MR Imaging for Neurogenic Tumors. <i>J Med Invest.</i> 2025;72(3.4):367-374.
36	Kamei Y, Tomida R, <u>Shinya T</u> , Daizumoto K, Furukawa J, Bando Y, Uehara H, Tsuneyama K, Harada M. A case of incidental adrenal capillary hemangioma after a partial nephrectomy for renal clear cell carcinoma. <i>Radiol Case Rep.</i> 2025 Aug 27;20(11):5710-5714.
37	Okada N, Otomi Y, <u>Shinya T</u> , Takao S, Otsuka H. 99m Tc-PYP and 99m Tc-MDP Scintigraphy in a Rare Case of Combined ApoA-I Cardiac Amyloidosis and Paget Disease of the Bone. <i>Clin Nucl Med.</i> 2025 Oct 1;50(10):946-948.
38	Otomi Y, Otsuka H, Kasai R, Morishita J, Miyake M, Minote K, Furutani K, Shimomura M, Kamei Y, Kasai H, <u>Shinya T</u> , Harada M. The clinical utility of ventilation-perfusion scintigraphy in the classification of pulmonary

hypertension. Jpn J Radiol. 2025 Nov;43(11):1778-1787.

39 Shinya T, Morine Y, Ishibashi H, Tanaka H, Hiraoka J, Takaoka Y, Otomi Y, Uehara H, Tsuneyama K, Takayama T, Shimada M, Harada M. Benign focal small bowel lesions : a review of the features on multiphasic multidetector computed tomography. J Med Invest. 2025;72(1.2):1-7.

40 Yoshimoto M, Yanagiya SI, Takanari H, Honda T, Maeda Y, Sumitani R, Oura M, Sogabe K, Harada T, Fujii S, Nakamura S, Bando Y, Tsuneyama K, Endo I, Abe M, Matsuoka KI, Miki H. Development of a rapid and novel diagnostic technique for cardiac amyloidosis using Raman spectroscopy. Res Sq [Preprint]. 2025 Jun 25;rs.3.rs-6795517.

41 Kaneko Y, Kawano Y, Kawata S, Mori K, Hosoki M, Hori T, Miyataka K, Tsuji S, Hara T, Yamagami H, Otda T, Yuasa T, Kuroda A, Harada T, Miki H, Nakamura S, Endo I, Matsuhisa M, Matsuoka KI, Aihara KI. Mean Corpuscular Volume Is Correlated with Liver Fibrosis Defined by Noninvasive Blood Biochemical Indices in Individuals with Metabolic Disorders Aged 60 Years or Older. J Clin Med. 2025 Jul 2;14(13):4680.

42 Nakamura S, Maeda Y, Sumitani R, Oura M, Sogabe K, Yagi H, Fujii S, Harada T, Matsuoka KI, Miki H. False-Positive Galactomannan Test Results in Multiple Myeloma. Diseases. 2025 Apr 17;13(4):118.

43 Nakamura S, Maeda Y, Hori T, Oura M. Hematology in community medical care. J Med Invest. 2025;72(1.2):21-25.

44 Sugasaki M, Nakamura S, Arai S, Teramoto K, Urushihara M, Inoue Y, Nakao T, Nishioka Y, Sata M. Congenital hypofibrinogenemia with a novel mutation B β Cys76Phe. J Med Invest. 2025;72(1.2):182-184.

45 Nakamura S, Hatakeyama H, Yoshida S, Ungkulpasvich U, Hirotsu T, di Luccio E, Abe M. Detection of Hematological Malignancies Using N-NOSE (Nematode-NOSE). Hematol Oncol. 2025 May;43(3):e70062.

46 Akashi K, Imai Y, Nakamura S, Maeda Y, Sumitani R, Oura M, Sogabe K, Takahashi M, Fujii S, Harada T, Miki H. Preparedness for the future in patients with relapsed or refractory hematopoietic malignancies in the treatment process: a qualitative study. Ann Palliat Med. 2025 Jan;14(1):43-56.

47 Maeda Y, Takao S, Morita S, Kondo S, Yamashita M, Sumitani R, Oura M, Sogabe K, Takahashi M, Fujii S, Harada T, Miki H, Abe M, Nakamura S. Quality of skeletal muscles during allogeneic stem-cell transplantation: a pilot study. BMJ Support Palliat Care. 2025 Aug 26;15(5):672-676.

48 Sumitani R, Higashi K, Oura M, Maeda Y, Yagi H, Sogabe K, Takahashi M, Harada T, Fujii S, Miki H, Abe M, Nakamura S. Effective Intractable Chylous Ascites Treatment by Lymphangiography with Lipiodol in a Patient with Follicular Lymphoma. Intern Med. 2025 Apr 15;64(8):1223-1228.

49 Nagano T, Kondo T, Hiyama R, Ikeda D, Hayashino K, Inoue Y, Ueno M, Ueda Y, Kubota S, Kobayashi H, Seike K, Fujiwara H, Asada N, Ennishi D, Fujii K, Fujii N, Matsuoka KI, Maeda Y. Successful Neutrophil Engraftment with Continued Ruxolitinib in Cord Blood Transplantation. Blood Cell Ther. 2025 Oct 17;8(4):268-273.

50 Kitamura W, Terao T, Matsuoka KI, Kondo T, Seike K, Fujii K, Fujiwara H, Asada N, Ennishi D, Fujii N, Maeda Y. Feasibility of early tacrolimus initiation in haploidentical-PBSCT with post-transplant cyclophosphamide after melphalan-based conditioning regimen. Blood Cell Ther. 2025 Oct 10;8(4):262-267.

51 Tanaka N, Shinohara A, Kimura SI, Kobayashi S, Uchida N, Asada N, Ota S, Tanaka M, Arai Y, Kataoka K, Hagihara M, Onizuka M, Nakamura Y, Matsuoka KI, Kawamura K, Kanda J, Fukuda T, Atsuta Y, Nakasone H.

	The Limited Impact of Pre-existing Rheumatologic Diseases on Outcomes of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Nationwide Propensity-Score Matched Analysis. <i>Transplant Cell Ther.</i> 2026 Mar;32(3):358.e1-358.e14.
52	Terao T, <u>Matsuoka KI</u> , Kondo T, Maeda Y. Three-year follow-up of low-dose, early-start gilteritinib maintenance in posttransplant patients with R/R FLT3mut AML. <i>Blood Neoplasia.</i> 2025 Jul 22;2(4):100141.
53	Zaimoku Y, Imi T, Hatada T, Mizumaki H, Mura H, Yoshino H, Kano Y, Kobayashi M, Morishita E, Fushida N, Matsushita T, Mizuguchi K, Ikeda H, Nannya Y, Ogawa S, Hosomichi K, Doki N, Katayama Y, Koike T, <u>Matsuoka KI</u> , Nishida T, Takahashi Y, Kataoka K, Nakazawa H, Ueda Y, Fukuda T, Ichinohe T, Ishimaru F, Onizuka M, Atsuta Y, Miyamoto T; Japanese Society of Transplantation and Cellular Therapy. Prevalence and outcome of VEXAS syndrome in unrelated hematopoietic cell transplantation for bone marrow failure. <i>Clin Exp Med.</i> 2025 Aug 22;25(1):300.
54	Matsuo T, Yano T, Yoshio K, Tanaka T, Nishimura H, <u>Matsuoka KI</u> . Whole-Eye Radiation for the Local Control of Choroidal Lymphoma in Primary Central Nervous System Lymphoma: A 14-Year Case Study. <i>Cureus.</i> 2025 Jun 10;17(6):e85680.
55	Kamoi C, Terao T, Kambara Y, Seike K, Fujiwara H, Asada N, Ennishi D, Nishimori H, Fujii K, Fujii N, Maeda Y, <u>Matsuoka KI</u> . Therapeutic impact of mesenchymal stem cells on idiopathic pneumonia syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. <i>Int J Hematol.</i> 2025 Nov;122(5):717-732.
56	Ishikawa D, Tokunaga T, Kashihara H, Yoshimoto T, Wada Y, Takasu C, <u>Nishi M</u> , Shimada M. The transanal approach for lower rectal cancer: a propensity score-matched analysis. <i>Surg Today.</i> 2026 Feb 26.
57	Shimomura M, Ikushima K, <u>Shinya T</u> , Otomi Y, Abe Y, Uehara H, Furukawa J, Kubo Y, Hashimoto I, Harada M. Imaging features of an extramammary Paget's disease of the penis: A case report and literature review. <i>Radiol Case Rep.</i> 2026 Feb 4;21(4):1694-1698.
58	Badarchin M, Otomi Y, <u>Shinya T</u> , Otsuka H, Takaoka Y, Matsushita T, Matsubara T, Fujita K, Tomioka Y, Nakataki M, Izumi Y, Numata S, Harada M. Comparative evaluation of CortexID and VIZCalc software in brain amyloid PET: a retrospective study of 116 cases. <i>Ann Nucl Med.</i> 2026 Apr;40(4):425-433.
59	Sumitani R, Miki H, <u>Nakamura S</u> , Nakamura M, Hori T, Maeda Y, Oura M, Sogabe K, Yagi H, Takahashi M, Harada T, Fujii S, Okada N, Nishio S, Tomonari T, Abe M, Matsuoka KI. Novel noninvasive parameters for diagnosis of liver involvement in patients with systemic AL amyloidosis. <i>Int J Hematol.</i> 2026 Feb;123(2):247-255.
60	Wada Y, <u>Nishi M</u> , Shimada M Reply: Circulating Exosomal MicroRNA Signature Predicts Peritoneal Metastasis in Patients with Advanced Gastric Cancer <i>Ann Surg Oncol.</i> 2025 Jan;32(1):380-381.
61	Nakagawa M, Hiasa M, Teramachi J, Harada T, Oda A, Nishino G, Matsuki S, Hanawa M, Bat-Erdene A, Taniguchi T, Taniguchi H, Tsuneyama K, Tominaga T, Tanaka E, Hiyama TY, <u>Matsuoka KI</u> , Katayama Y, Abe M. Mutual amplification of sensory nerve outgrowth and tumor progression in myeloma. <i>Haematologica.</i> 2026 Feb 26.
62	Shimomura Y, Komukai S, Kitamura T, Sobue T, Yamasaki S, Kondo T, Mizuno S, Harada K, Shingai N, Tanaka M, Ito A, Nishida T, Ohigashi H, Uchida N, <u>Matsuoka KI</u> , Kanda Y, Onizuka M, Kawakita T, Hiramoto N,

	Sawa M, Fukushima K, Kanda J, Fukuda T, Atsuta Y, Yanada M. The optimal conditioning intensity of stem cell transplantation for acute myeloid leukemia in complete remission. Ann Hematol. 2026 Feb 19;105(4):124.
63	<u>Matsuoka KI</u> . Designing immune reconstitution to prevent graft-versus-host disease: a novel therapeutic paradigm beyond T cell suppression. Int J Hematol. 2026 Feb 8. doi: 10.1007/s12185-026-04176-4. Epub ahead of print.
64	Kato K, Inamoto Y, Kawakita T, Onishi Y, <u>Matsuoka KI</u> , Shiratori S, Ikegame K, Hiramoto N, Toyosaki M, Katayama Y, Koga Y, Murayama S, Sasagawa Y, Shindo M, Teshima T, Hatake K, Maeda Y. Long-term follow-up of belumosudil as second or subsequent line of therapy for steroid-dependent/resistant cGVHD: clinical outcomes from a Japanese study. Bone Marrow Transplant. 2026 Feb;61(2):225-228.
65	Miyake T, <u>Kawano Y</u> , Kashihara T, Takasu M, Takagaki K, Fujimoto S, Kawaguchi T, Kagemoto K, Kida Y, Okamoto K, Sogabe M, Muguruma N, Tsuneyama K, Sato Y, Takayama T. Orthotopic Esophageal Cancer Xenograft Model in Immunosuppressed Microminipigs for Near-Infrared Fluorescence Endoscopy. Cancer Sci. 2026 Apr 3.
66	Kagemoto K, Okamoto K, Takeuchi Y, Okada Y, Sei M, Fujimoto S, Shinomiya R, Mitsuhashi T, Yoshimoto T, Yokoyama R, Kawaguchi T, Kida Y, Mitsui Y, <u>Kawano Y</u> , Sogabe M, Miyamoto H, Sato Y, Takayama T. Feasibility Study of Modified Underwater Endoscopic Mucosal Resection for Colorectal Polyps. DEN Open. 2026 Feb 14;6(1):e70294.
67	Fukuya A, Sato Y, Okada Y, Sagawa T, <u>Kawano Y</u> , Bando M, Okamoto K, Miyamoto H, Sogabe M, Takayama T. UBR4 enhances efficacy of anti-EGFR antibody by facilitating clathrin-dependent EGFR endocytosis in colorectal cancer. J Gastroenterol. 2026 Apr;61(4):421-434. doi: 10.1007/s00535-025-02338-5. Epub 2026 Jan 5.

(和文総説)

1	松岡 賢市 骨髓系腫瘍の発症機構と新しい治療戦略 造血器腫瘍に対する造血幹細胞移植の展望 日本検査血液学会雑誌(1347-2836)26 巻 1 号 Page87-96(2025.02)
2	松岡 賢市 造血細胞移植の進歩 GVHD 治療の現在地と新たな展開 日本輸血細胞治療学会誌(1881-3011)71 巻 2 号 Page288(2025.04)
3	松岡 賢市 RINKETSU Dictionary ROCK2 阻害薬 臨床血液(0485-1439)66 巻 4 号 Page294(2025.04)
4	大崎 裕亮(徳島大学病院 脳神経内科), 中村 信元, 三木 浩和, 山崎 博輝, 和泉 唯信 【筋疾患と神経疾患の狭間の疾患】神経・筋の狭間の疾患 AL アミロイドーシス 臨床神経生理学(1345-7101)53 巻 3 号 Page161-166(2025.06)
5	松岡 賢市 GVHD の基礎病態と治療標的 日本造血・免疫細胞療法学会雑誌(2436-455X)14 巻 3 号 Page114-120(2025.07)
6	中村 信元 【COVID-19 と腎臓との関連を再考する】COVID-19 の最新知見 日本腎臓病薬物療法学会誌(2187-0411)14 巻 2 号 Page237-240(2025.08)
7	松岡 賢市 急性リンパ性白血病における治療の進歩 臨床血液(0485-1439)66 巻 9 号 Page959-964(2025.09)
8	河野 豊 【肝疾患治療の最新動向-新薬の情報とともに】肝細胞癌-新規薬剤による長期生存への期待 臨床消化器内科(0911-601X)40 巻 12 号 Page1472-1478(2025.10)

(和文原著)

1	三宅 南帆, 辻 誠士郎, 河田 沙紀, 中村 信元, 乙田 敏城, 湯浅 智之, 栗飯原 賢一: 2型糖尿病における推定塩分摂取量に関わる因子の探索. 四国医学雑誌, Vol.80, No.3, 4, 107-112, 2024年.
2	新家崇義, 原田雅史, 西岡安彦. ウイルス感染症の胸部画像診断. 四国医学雑誌. 第 80 巻 第1、2号. 令和 6 年 6 月 21 日, Jun21,2024.
3	新家 崇義(徳島大学病院 放射線診断科), 原田 雅史, 滝沢 宏光, 西岡 安彦 似たもの画像, あいまい画像を一刀両断画像診断道場 実はこちらだった[第 321 回] 胸部単純 CT での左下葉の浸潤影増大……診断は? 日本医事新報(0385-9215)5287 号 Page1-2(2025.08)
4	松下 知樹(徳島大学病院 放射線診断科), 新家 崇義, 平岡 淳一郎, 廣島 由夏, Badrakhzul Zayabat, Badarchin Manduukhai, 高尾 正一郎, 原田 雅史, 岩本 誠司, 西庄 俊彦, 西良 浩一, 坂東 良美, 上原 久典 新たな手法である MRI テクスチャ解析によって神経原性腫瘍を鑑別する 四国医学雑誌(0037-3699)81 巻 1-2 号 Page83-84(2025.06)
5	音見 暢一(徳島大学病院 放射線診断科), 新家 崇義, 原田 雅史 似たもの画像, あいまい画像を一刀両断画像診断道場 実はこちらだった(第 334 回) FDG の異常な集積部位は? 日本医事新報(0385-9215)5312 号 Page1-2(2026.02)
6	前田 悠作, 原田 武志, 住谷 龍平, 大浦 雅博, 曾我部 公子, 八木 ひかる, 藤井 志朗, 中村 信元, 三木 浩和, 松岡 賢市 濾胞性リンパ腫の加療中に発症した CD4 陽性の EBV 陽性節性 T/NK 細胞リンパ腫 臨床血液(0485-1439)66 巻 4 号 Page285(2025.04)
7	原発性腹膜腫瘍の画像診断 新家 崇義, 音見 暢一, 池本 哲也, 森根 裕二, 坂東 良美, 上原 久典, 常山 幸一, 原田 雅史 画像診断 46 巻 3 号, 2026 年 2 月, pp.289-297

<著書>

1	松岡 賢市 【新・白血病学(下)-病態・診断・診療-】白血病治療の支持療法と支援 造血幹細胞移植の合併症とマネジメント 急性・慢性 GVHD の病態形成機序と治療標的 日本臨床(0047-1852)83 巻増刊 5 新・白血病学(下) Page406-412(2025.05)
2	添木 武 【不整脈診療学-最新の診断・治療動向-】不整脈各論 伝導障害 2 枝ブロック・3 枝ブロック 日本臨床(0047-1852)83 巻増刊 1 不整脈診療学 Page392-397(2025.01)
3	河野 豊 【機能性植物エゾウコギ】機能性植物エゾウコギの秘めたる可能性 臨床化学(0370-5633)54 巻 2 号 Page81-86(2025.04)

4 診療面

(1) 徳島大学病院での診療

① 内分泌・代謝内科

本講座特任教授の栗飯原は、再来外来診療を月 1 回(第 4 木曜日)、本講座特任助教の浅井は、新患および再来外来診療を週 1 回(木曜日)、担当しており、糖尿病および内分泌・代謝疾患(間脳下垂体疾患・甲状腺疾患・副甲状腺疾患・副腎疾患・肥満症・脂質異常症・高血圧症・尿酸代謝異常など)の専門診療を行っています。入院が必要な患者さんの診療に関しては、血液・内分泌代謝内科学スタッフのサポートを得て外来と緊密な連携のもとで、治療を行っています。

② 血液内科

徳島大学病院血液内科において、本講座特任教授の中村は外来診療を週 1 回(木曜日)、担当しており、血液疾患や HIV 感染症などの専門診療を行っています。また、本講座特任教授を併任している、徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野の松岡賢市は、週一回(月曜日)に担当しています。再来患者さんの診療に加え、新患患者さんの予約・紹介受診が可能です。

③ 循環器内科

本講座特任教授の添木は外来診療を週1回(火曜日)、担当しており、循環器、特に不整脈領域の専門診療を行っています。再来患者さんの診療に加え、新患患者さんの予約・紹介受診が可能です。また、入院加療としては、不整脈チームのチーフとして、頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション、徐脈性不整脈・致死性不整脈に対するペースメーカー・植込み型除細動器(ICD)植込み術、難治性心不全に対する心臓再同期療法(CRT)などの高度医療に携わっています。

④ 消化器内科

本講座特任教授の河野は、外来診療を週1回(金曜日)担当しており、消化器、特に肝臓疾患の専門診療を行っています。再来患者さんの診療に加え、新患患者さんの予約・紹介受診が可能です。肝炎の原因診断および治療、肝癌のインターベンション治療(ラジオ波焼灼術、肝動脈塞栓術)や化学療法を行っています。

⑤ 放射線科

本講座特任教授の新家は、月・火・水曜日は午前・午後、木曜日は午後、金曜日は午前に外来診療を担当しています。全身の臓器に生じる、良性病変から悪性腫瘍まで幅広い疾患を対象としており、CTやMRI、核医学、PET/CTなどマルチモダリティな総合画像診断を行い、読影レポート作成を行っています。

⑥ 消化器外科

本講座特任教授の西は月曜日・金曜日に外来を担当しています。手術は火曜日・木曜日に胃癌手術を主に行っており、最近ではロボット(da Vinci/hinotori)を用いた低侵襲手術を積極的に導入しています。また肥満症に対する減量手術も行っており、内科的な治療が困難な症例に対して内分泌内科と連携しながら治療をおこなっています。

(2) JA 徳島厚生連阿南医療センターでの診療

阿南医療センターでは、下表のスケジュールで初診および再来患者の外来診療を担当し、入院治療は常勤医と連携しながら行なっています。また循環器内科では、心房細動や発作性上室性頻拍に対するカテーテルアブレーション、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み術、植込み型心電計、経食道心エコーなどの特殊検査も施行しています。このように、地域においても徳島大学病院と同様に高度な循環器診療を受けられるシステムづくりを目指しています。血液内科では、外来での積極的な外来化学療法その他、必要に応じて常勤の血液専門医と協調して入院診療を行っています。消化器内科では、ウイルス肝炎の診断・治療や、肝癌で入院が必要な患者さんは、徳島大学消化器内科と連携して治療を行っています。消化器外科では徳島大学病院と同様の低侵襲な鏡視下手術を行っています。糖尿病・内分泌代謝内科では、糖尿病をはじめとする代謝疾患の診療に加え、肥満患者さんを対象とした肥満外来を開設しています。肥満症と生活習慣病の密接な関連を踏まえ、生活習慣指導や薬物療法を組み合わせた包括的な肥満症治療に取り組んでいます。

	月	火	水	木	金	土	日
糖尿病内科・ 内分泌代謝内科	湯浅 智之 (2025年10月31日迄) 浅井 孝仁	湯浅 智之 (2025年10月31日迄)	栗飯原 賢一	栗飯原 賢一	栗飯原 賢一		
循環器内科					添木 武		
血液内科	中村 信元		中村 信元	松岡 賢市 (第一木曜)			
消化器内科			河野 豊				

			(2025年10月31 日迄)				
消化器外科			西 正暁				
放射線科				新家 崇義			新家 崇義

(3) 美波町国民健康保険美波病院での診療

阿南医療センターに対する美波病院から診療支援要請に対応する目的で、本講座業務の一環として、栗飯原が火曜日の午前に内科外来を行なっています。専門診療が必要な患者に対しては、阿南医療センター、県立海部病院、徳島赤十字病院、徳島大学病院に紹介し、診療連携体制をとっています。

5 社会貢献

講演活動・会議開催・患者会活動など

1. 2025年4月23日
阿南健康づくりセンター
阿南市特定保健指導対象者講義
「受けただけではもったいない！～健診結果を活用しよう～」 （講師：湯浅智之）
2. 2025年6月14日
阿南医療センター市民公開講座
「糖尿病の予防というは」 （講師：栗飯原賢一）
3. 2025年6月28日 阿南医療センターひまわり会総会
「糖尿病の最近の話題」 （講師：栗飯原賢一）
4. 2025年8月27日
第32回がん診療連携セミナー
「最新の胃癌治療-ロボット支援手術と薬物療法の最前線」(発表：西 正暁)
「造血器腫瘍遺伝子パネル検査の実装と臨床的有用性」(発表：中村 信元)
5. 2025年8月29日
COVID 対策セミナー
「新型コロナウイルス感染症とその対策の現在地-徳島県の現状を踏まえて-」(講師：中村信元)
6. 2025年9月4日
2型糖尿病合併症マネジメントの実践と診療連携の深化に向けて～病診連携 Web セミナー～
「2型糖尿病治療の質を高める病診連携～入院治療の新たな選択肢～」 （講師：浅井孝仁）
7. 2025年9月25日
令和6年度 糖尿病ケアメディカルゾーンセミナー
「ライフステージ別糖尿病管理：高齢期」 （講師：浅井孝仁）
8. 2026年10月21日 第145回 糖尿病臨床・研究開発センター講演会

「代謝機能障害関連疾患研究における基礎と臨床2刀流のススメ」(講師:栗飯原賢一)

7. 2025年11月24日
Web市民公開講座 なるほど!血友病ワークショップ4
～未来の医療のために血液凝固レジストリという大切な一步を～
「みんなで考えよう!血友病の未来を守るために残すべきこと」(講師:中村信元)
8. 2025年12月6日
第127回日本循環器学会四国地方会開催(あわぎんホール)(会長:添木武)
9. 2025年12月7日
第127回日本循環器学会四国地方会市民公開講座
テーマ『健やかな心臓で、豊かな人生を!～専門医が贈る、最新の知恵と対策～』
「不整脈:突然死と脳梗塞を防ぐ知識」(講師:添木武)
9. 2025年12月10日 徳島市糖尿病サポーター(TCDS)養成研修会
「糖尿病のある人の災害対策」(講師:栗飯原賢一)
10. 2026年2月13日
AMLシンポジウム in 徳島
「徳島大学における造血器腫瘍遺伝子パネル検査の運用と活用事例」(講師:中村信元)
11. 2026年3月12日
第34回不整脈治療研究会
「日常臨床に潜む『稀だけどたまに会う』不整脈」(講師:添木武)
12. 2026年3月17日
第4回精密医療セミナー
「造血器腫瘍の遺伝子パネル検査へムサイトの現状」(講師:中村信元)

その他

1. 厚生労働行政推進調査事業費「肝炎等克服政策研究」令和3年度～
「オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究」研究分担者 河野 豊
2. 厚生労働行政推進調査事業費「肝炎等克服政策研究」令和5年度～
「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」研究分担者 河野 豊

5 活動写真

2025 年 12 月 6 日

第 127 回日本循環器学会四国地方会を会長として開催(あわぎんホール) (添木 武)
四国各地の医師、コメディカルら約 490 名が参加し、盛況を博した。

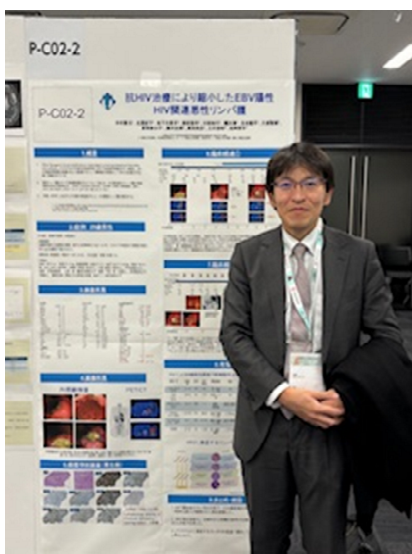


2025 年 12 月 7 日

第 127 回日本循環器学会四国地方会市民公開講座を開催(添木 武)



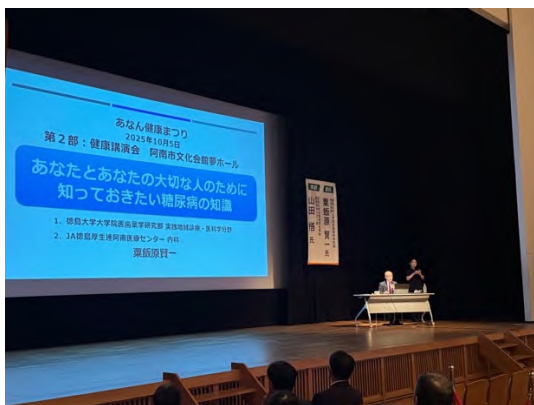
2025 年 12 月 6 日 日本エイズ学会 (中村信元)



2025 年 11 月 8 日 第 35 回臨床内分泌代謝 Update (浅井 孝仁)



2025 年 10 月 5 日 阿南市文化会館
あなん健康まつり 健康講演会 栗飯原賢一



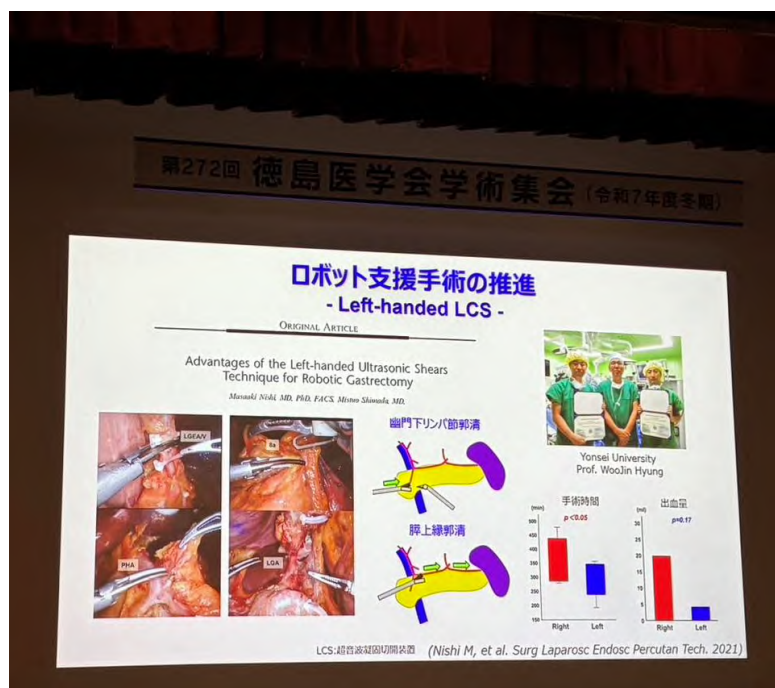
2025年5月31日 第68回日本糖尿病学会年次学術集会 岡山コンベンションセンター



2026年3月8日 徳島医学会学術集会 教授就任記念講 (中村信元)



2026 年 3 月 8 日 徳島医学会学術集会 教授就任記念講 (西 正曉)



2025 年 11 月 14 日 糖尿病週間ブルーライトアップ

